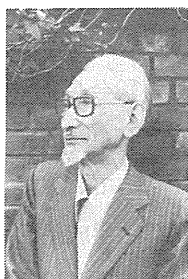


JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1990
8・9

豊口克平氏「デザイン功賞者 表彰」受賞者に決定



通産省では、本年度から「デザイン」に功労のあった者を、本年度より制定された「デザインの日」に表彰する制度を設けました。その趣旨は、「我が国が、快適で潤いのある国民生活を実現することを目標に、また、産業活動の高度化や創造的文化の発展を図る上で、「デザイン」はますます重要性を増している。この制度は、「デザイン」に関し、顕著な功績を上げた個人を対象として、通産大臣が表彰するもので、「デザイン」をより一層社会へ浸透することを目的としている。」と通産省では発表しています。

表彰の対象者は「デザインの普及、デザインの向上又は、デザインに関する国際交流の推進に顕著な功労があった者」で、デザイン関係13団体の代表者が候補者を推薦した中から通産省が厳選し、年間5名程度の方が選ばれる制度で、広範なデザイン活動を行った方に、とっては大変名誉な「賞」です。

豊口克平氏は、デザイナーとしての先駆者で、長年にわたり我が国のデザイン界の発展に献身的なご努力をなさった方です。JIDやJIDA（日本インダストリアル協会）の設立にも貢献され、設立初期の両協会で、理事長の重責を5期にわたり果たされ、JIDやJIDAの生みの親と会員に敬われている方です。現在もJID

目次

●豊口克平氏「デザイン功賞者表彰」受賞決定……………	1
●1990・第1回理事会議事録……………	2
●平成2年度本部及び支部委員会人事決定……………	5
●1990・第2回理事会議事録……………	6
●1990・第3回理事会議事録……………	10
●委員会の動き……………	15
●事業支部の動き……………	18
●大阪デザイン活動国際化促進協議会設立へ参加……………	20
●関連団体の動き……………	21
●計報（伊藤利一氏）・（青島録平氏）・（吉永淳氏）……………	21
●会員の消息……………	23
●新入会員の紹介：会員の異動……………	26
●事務局短信……………	41

10月1日はデザインの日

の名誉理事をはじめ、(財)工芸財団の理事長等の要職をなさっております。昭和51年には、我が国のデザイン界の発展に尽くされた功績により、勲三等 瑞宝章叙勲の栄に輝かれました。

今回の受賞は、先生にとって名誉だけでなく、推薦母体のJIDとしても、大変誇り高いことで、会員の皆様と共に心から祝福申し上げます。なお、受賞式は、10月1日「デザインの日」の午後、経団連会館ホールで行われる予定です。

(本部事務局)

’90・第1回理事会議事録

1. 日 時 平成2年5月26日(土) 13:00~14:30
2. 場 所 野口英世記念館 1F 第一会議室
東京都新宿区大京町26番地
3. 出席者 (別掲の通り)
4. 議 事

I. 報告事項

- (1) 第22回通常総会出席回答状況
- (2) 平成元年度一般会計監査報告
- (3) 平成元年度権利停止予定者報告
- (4) 昭和63年度及び平成元年度未収会費ならびに平成2年度会費納入状況
- (5) 選考委員会報告
- (6) 会員の消息
 - ・「インテリアプランニング賞’90」入賞者
 - ・訃報 名誉会員 西野 実氏
- (7) その他
 - ・「インテリアプランナー平成2年度試験案内」及び「商業施設技術基礎講座」について

II. 議 題

- 第1号議案 第22回通常総会について
- 第2号議案 創立30周年記念事業平成元年度決算報告(案)承認の件
- 第3号議案 平成2年度野口記念事業暫定予算(案)承認の件
- 第4号議案 定款改正準備委員会(仮称)設置について
- 第5号議案 新組織及び人事承認の件

- 第6号議案 財政の健全化及び会員拡充について
- 第7号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第8号議案 入退会承認の件
- 第9号議案 議事録署名人選任について

5. 議案審議

野村事務局長より「理事総数15名中15名(本人出席13名、委任状2名)で本理事会は成立した」旨報告された。引続き、渡辺理事長が議長となり議事に入った。

II. 報告事項 (7件)

① 第22回通常総会出席回答状況

平成2年5月25日現在で本人出席予定40名、委任状提出者291名、合計331名である。総会成立の定数は642名の過半数322名となっている。総会3役は、議長に長谷川隆之、書記に竹中幸雄、議事録署名人に中村 真、浅野盛治の各氏が内定している。なお、今回は来賓のご出席予定はない。

② 平成元年度一般会計監査報告

榎田監事より下記の通り報告された。

「平成2年4月24日、本部事務局にて顧問・小野木日出勝氏立合のもとに、榎田監事により会計監査を実施した。他に野村事務局長が出席した。当日の監査報告としてここに文書をもって報告する。」引続き榎田監事より資産が年々減少している現状につき、予算執行の甘さが指摘され、今後は理事長の先頭に、理事及び会員各位の財政の健全化に真剣に取り組んで欲しい旨の発言があった。

③ 平成元年度権利停止予定者

定款及び会員規定に抵触する本年度の権利停止予定者は、次の4名である。
第22回総会に上程の予定。

氏 名	種 別	所 属
近藤 均	正会員	関 東 支 部
久志宗昭	〃	〃
高木敦子	〃	〃
古川幹英	〃	〃

- ④ 昭和63年度及び平成元年度未収会費ならびに平成2年度会費納入状況

5月24日現在、未収会費は168万円である。引き続き納入督促中。

平成2年度会費納入状況は同日現在、正会員53％、準会員が50％、賛助会員が50％となっている。

⑤ 選考委員会報告

’89年度野口記念賞（第8回）の第2次審査は、去る4月2日行われた。第1次審査を通過した5点の作品から選考した結果、野口記念賞1点、野口記念奨励賞3点を次の通り決定した。

種 別	氏 名	学 校 名
野口記念賞	石田 敏樹	（専）日本デザイナー学院
野口記念 奨励賞	尾崎美代子	（専）インテリアセンカースクール
	浜田 菊子	（専）インテリアセンカースクール
	高木 宏明	（学）大阪総合デザイン専門学校

なお、野口記念事業第9回は継続するが、第10回以降については「学生公募展」に範囲を広げて行うよう検討中である。

⑥ 会員の消息

・（財）建築技術教育普及センターが主催し公募した「インテリアプランニング賞’90」の入賞作品が発表され、J I D会員では下記の方々が受賞された。

「建築技術普及センター賞」

藤田信一郎氏 正会員 （関東）

「部門別特別賞（店舗）」

福沢 雄二氏 正会員 （関東）

・訃 報

名誉会員西野 実氏が去る5月4日逝去された。関西支部創立以来の会員で、享年74才。葬儀の通知が遅かったので、川崎理事がご自宅を弔問された。謹んでご冥福をお祈りします。

⑦ その他

「インテリアプランナー平成2年度試験案内」（頒布7月2日～16日）及び商施連主催の「商業施設技術基礎講座」（7～8月各地で開催）の資料が当日配付された。

以上7件につき渡辺議長が総括ののち、①、②、③、④、⑤の5件につき理事会は了承した。

II. 議 事

第1号議案 第22回通常総会について

報告事項①にあるように、通常総会への出席状況につき野村事務局長より報告あり、事務局が作成した議事進行（案）が示された。時間を適切に配分し、効率よく進めることが討議された。なお、第2号議案の創立30周年記念事業中間報告については、中間という表現は不明確であり経理処理が爾後2年間に亙る見込みなので平成元年度報告に改めることが理事会に諮られ、理事会はこれを了承した。

本日、オブザーバーとして出席の長谷川隆之氏（関東支部）の紹介が行われた。

第2号議案 創立30周年記念事業平成元年度事業報告及び決算報告（案）承認の件

創立30周年記念事業委員長の川上副理事長から資料に基づき事業内容の報告があった。引き続き決算報告書（案）につき、野村事務局長が説明した。これに対し森谷理事より前回の理事会の報告との差異理由について質疑あり、事務局長が一般会計との関連によるものであることを説明した。

議長は、第2号議案につき理事会に諮った結果、理事会はこれを承認した。

第3号議案 野口記念事業暫定予算（案）承認の件

議長は、事務局長に暫定予算（案）の説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明した。理事会はこれを了承とし、原案通り承認した。

第4号議案 定款改正準備委員会（仮称）の設置について

議長は、’89第6回理事会での懸案事項であった副理事長2名制について、通産省の意向打診の結果報告を事務局長に求めた。事務局長は「通産省に問い合わせたところ、J I D内に定款改正を目的とした委員会を新たに設置し、委員長（理事クラス）が直接同省産業政策局の指導を得て進めることになる。手続きに要する期間としては最低6か月は必要とのことなので第22回総会には間に合わない。」旨報告した。これに対し議長は、「今日は総会も控え時間的制約もあるので、委員長人事も含め次回理事会での継続審議にしてはどうか」を理事会に諮り、理事会はこれを了承した。

第5号議案 新組織および人事承認の件

議長は、平成2年度の運営組織および人事について

次のとおり発言した。

「前回の理事会では時間的制約により十分論議が尽くせず、結論に至らなかった。一部に意見の相違もあるようだが、本年度は議案書19頁に示す運営組織（案）のとおり決定したい。本年度中に組織委員会等を通じて十分に論議を尽くした上で改定の必要がある場合は次年度以降にしてはどうか」と発言した。また、関西事業支部事業部会長 山口道夫氏から理事長及び総会議長宛の文書が届いている。その主旨は「展覧会検討委員会」を特別事業から経常事業に移し、「展覧会委員会」として欲しいとのことである。その取扱について理事会で討議した結果、「展覧会検討委員会」と「報酬基準検討委員会」の2委員会については、経常事業と異なるので特別事業のままとするが、両委員会とも「検討」の文字を削除し、夫々「展覧会委員会」「報酬委員会」とする。

議長は、以上につき理事会に諮った。理事会はこれを承認した。

第6号議案 財政の健全化および会員拡充について

議長は新年度から財務委員長を担当される川崎理事に発言を求めた。川崎理事は「平成2年度の予算執行につき、理事各位の協力をお願いする。財政の健全化のためには会員拡充による会費の増収が急務であり、各支部ごとに会員拡充数を割り当ててはどうか」と発言した。次に、組織委員長を担当する富田理事より、過去8年間における各支部ごとの会員数の推移に基づいた割り当て数の試案が示された。最後に次期理事長の長岡理事が「会員拡充については理事各々が率先垂範すべきではないか」と発言し、試案を提示した。議長は「今回は十分討議する時間がないので、次回理事回までに文書で提議し、継続審議についてはどうか」と理事会に諮った。理事会はこれを了承した。

第7号議案 後援・協賛名義承認の件（4件）

議長は下記4件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき実施または実施予定につき説明した。議長は本件につき承認を諮った。理事会はいずれも異議なく承認した。

- ・第30会「東京インターナショナル・ギフト・ショー秋'90」
主催（株）ビジネスガイド社
（1990・9・4～6 東京都）
〈協賛〉
- ・第4回「インターナショナル・ギフト・ショー西日本秋'90」
主催（株）ビジネスガイド社
（1990・9・26～27 神戸市）
〈協賛〉
- ・「第4回国際デザイン・キャンプ'90松本」
主催（財）国際デザイン交流協会
（1990・9・26～27 松本市）
〈協賛〉
- ・第7回オフィス環境展・インテリジェントビル'90／シンポジウム
主催（社）日本能率協会
（1990・9・26～29 幕張）
〈協賛〉

第8号議案 入退会承認の件（23件）

議長は、下記23件について事務局長に内容の概括説明を求めた。

事務局長は資料に基づき説明した。理事会はそれぞれの資料に基づき審議を行った。議長は本件につき理事会に諮った。いずれも異議なく承認した。

・正会員の入会（12件）

氏名	種別	支部	保証推薦者
陶山 由美	正会員	関東	長岡 貞夫・小玉 靖子
星野 節子	〃	〃	小笠原紀男・岡部 史子
小野上勝志	〃	〃	白石 勝彦・佐戸川 清
里内 俊夫	〃	〃	松本 哲夫・浅田 弘之
井上 俊彦	〃	〃	岩倉 榮利・根本 恵司
板倉 信子	〃	〃	長岡 貞夫・小玉 靖子
稲田 慎一	〃	〃	及川 宝・川村 吉司
鎌田 博子	〃	〃	長岡 貞夫・小玉 靖子
宇田比呂美	〃	〃	〃 ・ 〃
石本 陽子	〃	〃	〃 ・ 〃
道明三千代	〃	〃	〃 ・ 〃
柴口シズ子	〃	〃	金子 浩子・浅野 盛治

・賛助会員の入会（7件）

名 称	種 別	支部	紹介者
(株)アーキツアンドアーティスト	賛助会員	関東	斉藤 武行
山本工業(株)	"	"	山下 博之
藤産業(株)	"	"	石井 静香
(株)龍村美術織物	"	"	栗原 満直
(株)森 傳	"	"	田中 聡行
(専) 日本デザイン学院	"	"	坂井 良種
セキスイインテリ(株)	"	"	高田紀久枝

・正会員の退会（3件）

名 称	種 別	支部	
橘 悟	正会員	関東	
伊井田 義 正	"	"	
西 田 秀 夫	"	関西	

・賛助会員の退会（1件）

名 称	種 別	支部	
カクテルジャパン(株)	賛助会員	関東	

第9号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に、中川千年・中村圭介両理事の選任を提案し、承認を諮った。理事会は異議なく承認した。

(社)日本インテリアデザイナー協会1990・第1回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過の要領および議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 印
 議事録署名人 中 川 千 年 印
 議事録署名人 中 村 圭 介 印

1990・第1回理事会出席者

渡辺 優, 川上 信二, 山本 棟子, 長岡 貞夫, 中村 圭介, 中川 千年, 白石 勝彦, 宇賀 敏夫, 富田 卓司, 川崎 浩, 山品 元, 森谷 延周, 泉 修二,
理事総数15名中理事15名(本人出席13名・委任条2名)
監 事 榎田 均, 渡辺 敏雄
事務局長 野村禮七郎

(敬称略 順不同)

次回, 1990・第2回理事回は, 6月27日(水)東京開催の予定。

自由学園明日館で講演会

明日館はF・L・ライトの設計で建てられ、東京に唯一残るライトの建物です。しかし今、いたみが激しく改修、保存に多額の費用を必要とし、私共はそのために運動して居ります。

この度ファイバーアーティストの第一人者シーラヒックス女史のご協力を得て、講演会を催すことになりました。会の前後、自由に建物の見学が出来ます。

日 時 10月13日(土) 1:30

会 場 自由学園明日館講堂

会 費 一般 1,200円 学生 800円

詳細は Tel. 03-793-1624

Fax. 03-5704-0949 横江まで

平成2年度 本部及び支部委員会

人事決定

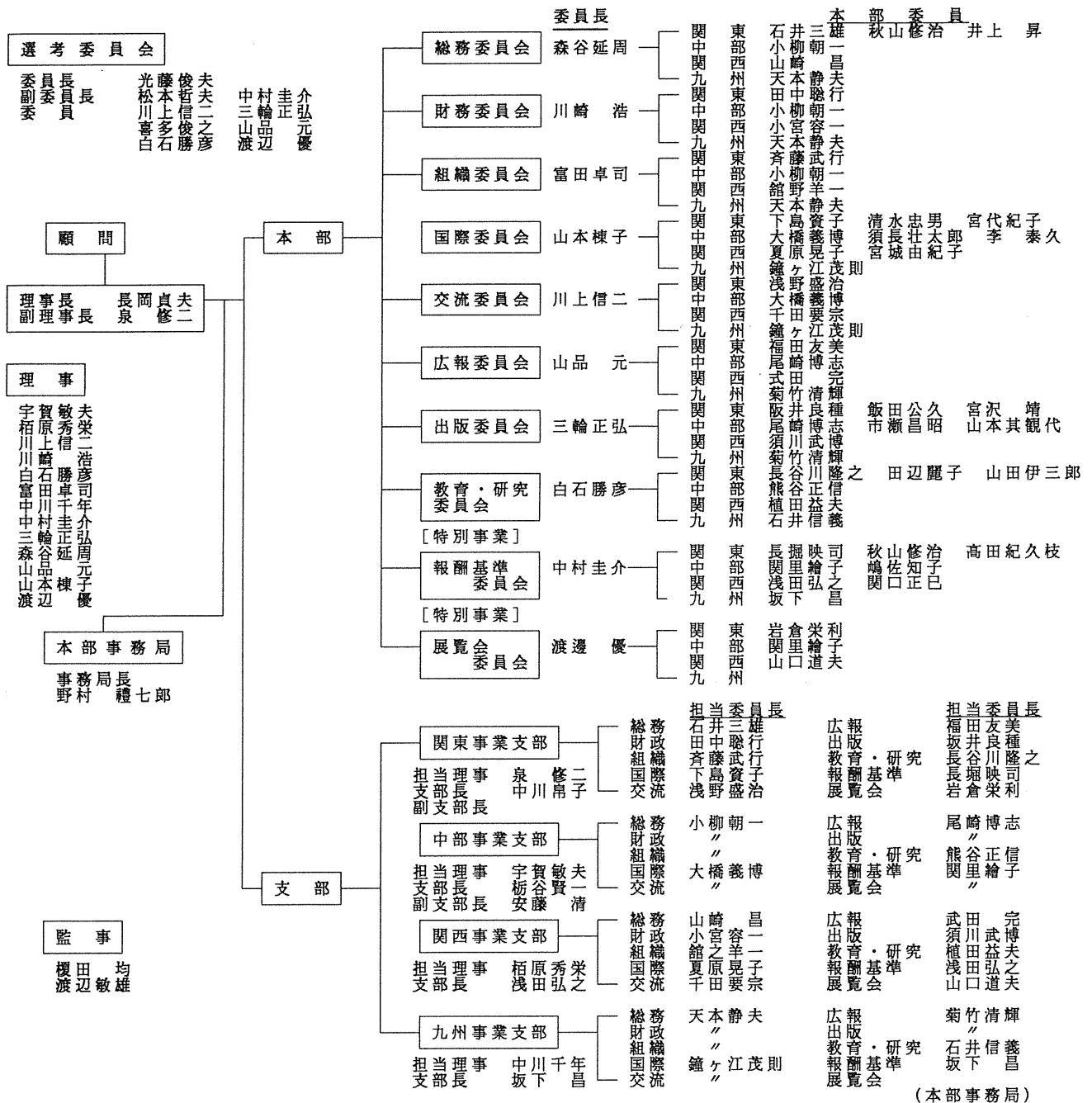
平成2年度からのJ I Dの運営は、去る5月26日に開催された「第22回通常総会」で決定されましたが、それに伴う各事業支部の「支部長」及び本部各委員会の「本部委員」の人事は、8月3日開催の「1990・第3回理事会」で審議の上、決定されました。

改訂された運営組織では、各事業支部の各委員長が本部の各委員会に「本部委員」として加わり、各事業を推進して頂くことになりました。

これは、従来はとかく「関東」に偏りがちだった本部を、全国的な連携のもとで行うことにより、各事業支部の活性化に繋げていく狙いによるものです。

例年より若干遅くなりましたが、ご担当頂く方々には、「平成2年8月3日付」により、理事長名で委嘱状を発送致しました。

「平成2年度 運営組織図」及び人事は次の通りです。



'90・第2回理事会議事録

1. 日 時 平成2年6月27日（水） 13:30～17:30
2. 場 所 東家商会館 3F会議室
東京都文京区湯島3-35-13
3. 出席者 （別掲の通り）
4. 議 題

I. 報告事項

- (1) 「デザインの日」記念事業参加の案内
- (2) 日本デザイン団体協議会連絡会議定期開催につ

いて

- (3) 平成2年度権利停止予定取消者報告
- (4) 創立30周年記念事業平成元年度収支実績について
- (5) 本部事務局夏季休暇スケジュール
- (6) その他

- ・ '89東京国際家具見本市特別イベント

「フォールディングファニチュア」展記録集刊
行について

- ・「インテリアマップ'90～'91」の拡販について

て

- ・ '89 J I D協会賞受賞者「本間利雄さんを祝う会」報告

II. 議 題

第1号議案 新年度事業の推進について（重点項目等）

第2号議案 人事及び任期

- ・各事業支部長及び組織について
- ・本部各委員会委員について
- ・定款改正準備委員会（仮称）について
- ・顧問の委嘱について

第3号議案 平成元年度及び2年度の委員会費の措置について

第4号議案 後援協賛名義承認の件

第5号議案 入退会承認の件

第6号議案 大阪デザイン活動国際化促進協議会の協力金支出承認の件

第7号議案 議事録署名人選任の件

5. 議案審議

野村事務局長より「理事総数15名中15名（本人出席9名、委任状6名）で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 報告事項

議長は、(1)～(5)項について野村事務局長に報告を求めた。野村事務局長は下記のとおり報告した。

(1) 「デザインの日」記念事業参加の案内

J I D P Oより、「デザインの日」（毎年10月1日）制定にともない、9～11月に開催されるデザイン関係記念事業の行事につき、登録制度化された旨、資料に基づき報告を行った。

(2) 日本デザイン団体協議会連絡会議定期開催について

6月11日に開催された事務局長会議で、お互いの懸案事項等を話し合うため、今後隔月開催することとなった。

(3) 平成2年度権利停止予定者取消報告

下記1名は、第1回理事会報告直後に、過年度会費の納入があったので権利停止の予定を取り消した旨報告された。

近藤 均 （関東事業支部 正会員）

(4) 創立30周年記念事業平成年度収支実績について
「資料2」平成2年度3月末現在の収支実績について1989・第6回理事会で配付した資料との差異につき説明した。

(5) 本部事務局夏期休暇スケジュール

本年は8月13日(月)～15日(水)の3日間とする。

(6) その他

- ・ '89東京国際家具見本市特別イベント「フォルディングファニチュア」展記録集が刊行され、照会された。

・「インテリアマップ '90～'91」の拡販について、協力をインテリア産業協会にお願いし、申し込み葉書1万枚を同協会会員及び認定登録のコーディネーターに配付した。

- ・ '89 J I D協会賞を受賞された「本間利雄氏を祝う会」が去る6月24日夕、山形グランドホテルで開催され、出席した泉副理事長から報告があった。以上報告(1)～(5)項につき、理事会はこれを了承した。

II. 議 事

第1号議案 新年度の事業推進について

議長は、第1号議案について第22回総会で承認された「平成2年度事業計画」及び先に理事長が各委員長に提出を依頼した重点項目に基づき、各担当理事の説明を求めた。各担当理事は担当する委員会及び事業支部について夫々説明した。

なお、選考委員会については、議長の指名により泉副理事長が選考委員長に代わって説明した。

- ・選考委員会 (泉)

前回の理事会で報告のとおり、野口記念事業については、第9回まで継続し、次年度からは範囲を広げ、「学生公募展」（仮称）としたい。そのため準備委員会を選考委員会の中に設置し進める計画である。以上につき、理事会は、次回理事会までに具体的な推進案を提出することを条件とし、これを了承した。

- ・総務委員会 (森谷)
(重点項目)

平成2年度事業計画の中、①副理事長複数制に関

する諸規定の検討と、「J I Dパンフレット」の修正を最優先で進めていきたい。副理事長複数制については、通産賞の承認が先決である。「J I Dパンフレット」については、会員拡充の説明資料としても至急必要なので、現在3000部の発注を事務局を通じ手配中。以上につき、理事会はこれを了承した。

・財務委員会 (川崎)

川崎理事欠席につき、財務委員長から提出された資料を富田理事が代わって説明した。

(重点項目)

- ①平成2年度の決定予算の厳守をお願いする。
- ②全役員に対し財政再建への協力体制の具体化を要請する。

収入

- ・会費の増収については 年度予算に計上した会員拡充目標の達成を早急に行う。
- ・事業収入については、項目ごとに担当理事を決める。収入をとまなわない事業は、一時取り止める。

支出

- ・事業費は、各委員長の責任において、予算内におさめる。
- ・支部事業費は収入に見合った支出を心掛ける。
- ・管理費の高額の支出は、総務担当理事の了承を得る。
- ・管理費の高額の支出は、総務担当理事の了承を得る。

研究課題

- ・会費増額についての時期、金額などの検討
- ・次年度以降の財務計画の策定
- ・会計細則の見直し

上記を検討した結果、管理費の高額支出については事務局長の裁量にゆだねること、また、会費の増額については、なるべく早い時期に試案を理事会に提出してもらうよう要請することとし、以上につき理事会は、これを了承した。

・組織委員会 (富田)

6月5日付で各事業支部担当理事を中心に、次の4項目について、アンケートを送付した。

- ①平成2年度支部長名、組織委員長名
- ②平成2年度会員拡充目標設定(正会員80名、賛助会員21社)に対する各支部割当数の達成度

③各支部割当数を越えた場合の還元方法について

④賛助会員メリット対策の必要性について

(賛助会員対策委員会の設置案、会員メリットの明記等)

上記アンケートに対する各支部の回答は次の通りであった。

①各支部長は決定、組織委員長は関東を除き決定。

(組織委員会としては、各支部に本部と同じ委員会の設置を希望する)

②割当て方法については、一部に異論もあったが、割当て数については各支部とも達成可能。

③各支部とも還元には賛成。方法は理事会の決定に従う。

④必要性については各支部とも賛成。

議長は、「③項は目標達成が先決であること、④項の方法については十分時間をかけて検討する必要があるので、③項及び④項は継続審議にしてはどうか、また会員拡充についてはこの外に理事1名につき3件(正会員及び賛助会員)の新入会員推薦を理事各位にお願いしたい」旨発言し、理事会に諮った。理事会はこれを了承した。

・国際委員会 (山本)

5年後のI F I総会の開催地に、日本が立候補してはどうかを理事会に諮った。理事会はこれを諮り、立候補については前向き推進することには賛成、予算規模についての資料を早い時期に理事会に提出すること。以上につき理事会はこれを了承した。

・交流委員会 (川上)

議長は、川上理事欠席につき、他の委員会と同様に、平成2年度の事業計画の基本方針等の具体案を早急に理事会に提出することを理事会に諮り、理事会はこれを了承した。

・広報委員会 (山品)

議長は、山品理事欠席につき、重点項目として次の項目が上げられていることを理事会に諮った。

①協会事業の対外広報強化について

②当該単年度の最小限広報の実施

なお、議長は、前2項以外の事業計画口の「協会内の記録整備」について、具体案を次回理事会に提出する件につき、理事会に諮った。理事会はこれを了承した。

・出版委員会 (三輪)

議長は、三輪理事欠席につき、重点項目として次の3項目が上げられていることを理事会に諮った。

- ①会員の意見の反映を広く求める。
- ②それぞれの造形活動のレポート
- ③支部活動から積み上げた研究報告

議長は、上記の他にすでに重点事業として決定している、J I D 30事業記録誌及び「J I D NEWS」を合体した新機関誌の早期発行、会員名簿の編集方針につき、次回理事会に提出することを諮り、理事会はこれを了承した。

・教育・研究委員会 (白石)

議長は、白石理事欠席につき、理事会に提出された次の重点項目2項の推進につき理事会に諮った。

- ①前年度研究活動のフォローについて
- ②インテリア教育におけるコンピューター導入についての提案

上記2項につき理事会はこれを了承した。

・報酬基準委員会 (中村)

取敢えず本部委員2名を決定したが、前任の総務委員会のメンバーなども加え、委員が決まり次第委員会を開き推進する予定。

理事会はこれを了承した。

・展覧会委員会 (渡辺)

委員として各事業支部の担当委員長を予定している。

委員が決り次第委員会を開催し、具体的な事業目標を策定し推進する予定。理事会はこれを了承した。

なお、支部事業については各事業支部の総会決定事項を自主的に推進することで、理事会は了承した。

第2号議案 人事及び任期

議長は、第2号議案について各項目ごとに審議することとし審議を進めた。なお、委員の任期については、来年度の組織変更が予想されるので、1年にしてはとの意見もあったがその時点で対応する事とし、従来通り2年とすることで理事会はこれを了承した。

・各事業支部長及び組織について

各事業支部の支部長は各支部ごとの決定者が各担当理事より下記の通り報告された。

関東事業支部 中川帛子、中部事業支部 栃谷賢一

関西事業支部 浅田弘之、九州事業支部 坂下 昌

上記人事について理事会はこれを承認した。なお、支部委員会組織については、関西及び九州事業支部は決定しているが、関東及び中部事業支部は未決定なので決定次第、次回理事会で報告する事になり、理事会はこれを了承した。

・本部各委員会委員について

本部委員会の委員数について、先の理事長からの文書では2～3名を原則としたが、理事会で討議の結果次のとおり決定した。

本部事業の各委員会の委員は、各事業支部からの担当委員長各1名と、必要に応じ別にワーキングスタッフ2～3名を原則とする。ただし、委員会の性格に応じこれを超えてもよい。

なお、委員の人選については未だ決定していない委員会が多いので次回理事会までに決定し、委嘱する事になった。

・定款改正準備委員会(仮称)について

委員長を総務担当理事に委嘱する件につき、理事会はこれを了承した。ただし、委員会の設置及び他の人事については、通産省の意向を打診した上で理事会に諮ることになった。

・顧問の委嘱について

渡辺前理事長から現在の顧問を委嘱した経緯について説明あり、この件については長岡新理事長の意向も入れて、次回理事会の継続審議にしてはどうかの発言あり、議長はこれを諮り、理事会は了承した。

第3号議案 平成元年度及び2年度の委員会費について

議長から提案理由の説明あり審議を始めたが、渡辺理事より「今回の審議は時間が足りないので次回継続審議にしてはどうか」との発言あり、議長は理事会に諮り、理事会は本件を次回継続審議する事を了承した。

第4号議案 後援・協賛名義承認の件

議長は、下記4件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき実施予定につき説明した。議長は本件につき承認を諮った。理事回は「協力」の内容確認を行うこととした他は、いずれも異議なく承認した。

- ・環太平洋デザイン交流事業に係わる
環太平洋デザイン文化交流会議 〈協賛〉
主催（財）国際デザイン交流協会
(1990・10・24～26 大阪)
- ・「アジア・太平洋スペースデザイン会議'90東京」
主催（社）日本商環境設計家協会 〈協力〉
(1990・10・29～30 浦安)
- ・「オーオフィスフェア'90 大阪」 〈後援〉
主催 ニューオフィスフェア'90大阪実行委員会
(1990・11・14～16 大阪)
- ・名古屋ディスプレイ協同組合創立30周年記念
「ショップ&ディスプレイショウ ナゴヤ」
主催 名古屋ディスプレイ協同組合 〈協賛〉
(1990・12・7～8 名古屋)

第5号議案 入退会承認の件（9件）

議長は、下記9件について事務局長にてようの概
括説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明した。
理事会はそれぞれの資料に基づき審議を行った。議
長は本件につき理事会に諮った。いずれも異議なく
承認した。

・正会員の入会（6件）

氏 名	種 別	支部	保 証 推 薦 者
田中 典夫	正会員	関東	宮城由起子・山下 禮子
中山智恵美	〃	〃	樋浦 康裕・西澤 圭三
梶 暁美	〃	〃	中村 圭介・金子 浩子
山口慶之助	〃	〃	森谷 延周・小坂希一郎
飯田 恒徳	〃	〃	田中 聰行・吉良 ヒロノブ
小田 一美	〃	関西	仲本 弘至・金堀 一郎

・賛助会員の入会（2件）

名 称	種 別	支部	紹介者
細田木材工業(株)	賛助会員	関東	山本 棟子
フクビ化学工業(株)	〃	中部	栃谷 賢一

・正会員の退会（1件）

名 称	種 別	支部	紹介者
本 間 純 一	正会員	中部	

第6号議案 大阪デザイン活動国際化促進協議会の協力

金支出承認の件

柏原理事より、同協議会の構成団体として、J I
D関西支部が加入しているが、同協議会から各構成
団体に対し、本年度の協力金5万円の拠出の申し入
れがあったので理事会の承認を得たい旨、提案理由
の説明を行った。議長は、本年度の予算には計上さ
れていないが、その必要性を認め、本年度について
はとりあえず本部の予備費から計上してはどうかを
理事会に諮った。理事会はこれを承認した。

第7号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に森谷延周、山本棟子両理事
の選任を提案し、承認を諮った。理事会は異議なく
承認した。

（社）日本インテリアデザイナー協会1990・第2回
理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、
議事経過の要領および議決事項を記すため、議長と
議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
議事録署名人 森 谷 延 周 印
議事録署名人 山 本 棟 子 印

1990・第2回理事会出席者

長岡 貞夫, 泉 修二, 渡辺 優, 富田 卓司, 森谷 延周, 中川 千年, 山本 棟子, 中村 圭介, 栢原 秀榮
理事総数15名中理事会15名(本人出席9名, 委任状6名) (委任状) 宇賀 敏夫, 川上 信二, 川崎 浩, 白石 勝彦, 三輪 正浩, 山品 元,
監 事 榎田 均, 渡辺 敏雄
事務局長 野村禮七郎,

(敬称略 順不同)

次回理事回は8月3日(金), 東京開催の予定

'90・第3回理事会議事録

1. 日 時 平成2年8月3日(金) 13:30～17:00
2. 場 所 東家商会館 3F会議室
東京都文京区湯島3-35-13
3. 出席者 (別掲の通り)

4. 議 題

I. 報告事項

- (1) 「デザインの日」推進事業連絡会の報告
- (2) 「デザイン功労者表彰制度」の候補者推薦報告
- (3) 平成 2 年度権利停止者解除報告
- (4) 計報 2 件
- (5) 関連団体人事について
- (6) その他

- ・ J. D. A について
- ・ 「インテリアマップ'90～'91」の拡販報告

II. 議 題

第 1 号議案 平成 2 年度事業の推進について

第 2 号議案 人事

- ・ 本部各委員会の委員委嘱について
- ・ 顧問の委嘱について

第 3 号議案 委員会費（会費）の措置について
（平成元年度及び 2 年度）

第 4 号議案 定款改定の総会開催時期について

第 5 号議案 賛助会員対策委員会（仮称）の設置
について

第 6 号議案 理事会開催に関する申し合わせにつ
いて

第 7 号議案 新入会員入会承認の件

第 8 号議案 議事録署名選任の件

5. 議案審議

野村事務局長より「理事総数 15 名中 15 名（本人出席 12 名、委任状 3 名）で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議事に入った。

I. 報告事項

議長は、野村事務局長に報告を求めた。野村事務局長は報告事項(1)～(6)について、下記の通り報告した。

(1) 「デザインの日」推進事業連絡会の報告

平成 2 年 7 月 13 日午後 3 時より、通産省本館会議室で開催され、検査デザイン行政室長他、デザイン関連 13 団体の事務局長が出席した。当日の議題は、①「デザインの日」推進事業について ②「デザインに関する世論調査」の結果について ③「デザイン功労者表彰制度」についてであった。

(2) 「デザイン功労者表彰制度」の候補者推薦報告

通産省では、本年度からデザインに功労のあつ

た者を「デザインの日」に表彰する制度を設けた。

表彰の対象者及び推薦母体は(1)③で報告の通りである。本年度は日程が迫っていたので、理事長及び副理事長が慎重に協議の上、推薦候補者（名誉理事・豊口克平）を決定、推薦書及び関係資料を去る 8 月 1 日に提出した。受賞者の決定は 9 月半ばの予定。

(3) 平成 2 年度権利停止者解除報告

1990・第 2 回理事会で報告した以降、下記 1 名はその後過年度会費の納入があったので、権利停止を解除した旨報告された。

古川 幹英（関東事業支部正会員）

(4) 計報 2 件

下記の方々が逝去された。謹んでご冥福をお祈りする。

・ 名誉会員 伊藤利一氏 7 月 8 日逝去、享年 77 才
長岡理事長、榎田監事、野村事務局長が葬儀に参列した。

・ 賛助会員 (株)青島商店創業者 現相談役

青島録平氏

7 月 17 日逝去、白石理事が葬儀に参列した。

(5) 関連団体人事について（新任）

・ (財) 日本産業デザイン振興会 理事長

村野啓一郎

・ (財) 国際デザイン交流協会 常務理事

菊地 禮

・ (社) 国際家具産業振興会 専務理事

青木恒太郎

・ 国際デザインセンター設立推進委員会準備室

事務局長 木村一男（前国際デザイン交流会常務理事）

(6) その他

・ J. D. A について

日本インテリアデザイン協会（J. D. A）と言う紛らわしい団体があり、独自に資格認定等を行っており、事務局に問合わせがある。本部は京都にあり各地に支局を設けて活動している。実情を調査の上対処したい。

・ 「インテリアマップ'90～'91」拡販状況

7 月初旬、(社)インテリア産業協会の協力を得て発送した。申込み葉書により 290 部の申込みがあった。

以上、報告事項(1)～(6)項については、了承された。
なお、議長は、(2)の「デザイン功労者表彰」の候補者推薦につき、次回からの選考方法を理事会で決めたいと発言した。これに対し白石、栢原、森谷各理事から「選考委員会で候補者を選し、理事会で決定してはどうか」との意見が出された。また、「選考委員会の出席率が悪いので良くするよう理事会として要望する」

以上の2点につき、理事会は了承した。

II. 議 事

第1号議案 平成2年度の事業推進について

議長は、第1号議案について、資料提出のあった、国際、出版、選考、広報の各委員会の委員長（選考は白石委員、広報は山品委員長欠席につき、野村事務局長が代行）に説明を求めた。また、資料はないが各事業支部の推進状況について、各支部の担当理事に説明を求めた。なお、今後の資料の提出のない場合は、緊急の場合を除いて議題に取り上げない旨、要請した。

・国際委員会 (山本)

前回の理事会で1995年に開催されるIFI総会の開催国に日本が立候補する件につき承認を得たので、7月10日、IFI本部に文書で立候補の意向を伝えた。現在、手続きの方法につき問い合わせ中で、回答待ち。日本での会議開催の企画原案作成のための資料を収集し、9月に委員会を開催する準備を進めている。’89 ICSID報告抜粋及びアジア太平洋スペース会議の予算資料が回覧された。

議長は、「予算規模の概算を含めた企画の試案を至急作成し、早い時期に提案してほしい」旨、要請した。

・出版委員会 (三輪)

去る7月11日、委員会の新メンバーを集めて討議した結果の報告があった。要旨は下記の通り

- ①速報性を重要視する「JID NEWS」との合体は、難しい。「JID NEWS」は、従来通り事務局でお願いしたい。
- ②会員名簿は、JIDにとって重要な出版物なので、従来通りのスタイルで発行してほしい。(出版委員会のタスクとしない。)
- ③「INTERIOR DESIGN」111号は、NEWSの拡大版く

らいで編集してはどうか。

- ④112号以降は、会員の意見や作品を収録したものを掲載し発行は年1回にしてはどうか。

- ⑤編集は、コアメンバーとワーキングスタッフならびに各支部からのリポーターが参加できる三重構造としたい。

議長は、「報告の内容は、すでに決定している平成2年度の事業計画および予算編成方針との食違いがあるので、あらためて同方針にのっとり、全国会議を開き、支部の意見を集約した形で編集方針の骨子を決めて理事会に提出してほしい」旨、要請した。

なお、従来の「JID NEWS」は、その間のつなぎとしてあと1回発行することになった。

・選考委員会 (白石)

「J I D学生インテリアデザインコンペティション(仮称)実施試案」の資料について、これは未だ選考委員会でも検討をしていない試案であることを付け加え説明した。

議長は、「試案を選考委員会で十分検討の上、理事会に提出してほしい」旨、要請した。

・広報委員会 (山品)

山品理事欠席につき、広報委員長から提出された資料を、野村事務局長が代って説明した。

議長は、「前回の理事会に提出された項目と併せ、推進してほしい」旨、要請した。

・関東事業支部 (泉)

委員会の人事が、未だ全部決まっていない。8月9日に最終決定した上で、関東事業支部の各担当委員長を集め、平成2年度の事業計画を決める。

・中部事業支部 (宇賀)

6月30日に支部総会を開催し、組織、人事、事業計画を決定した。各担当委員長を中心に事業の活性化を図っていく。

なお、7月に発足した「国際デザインセンター設立推進委員会準備室」に、J I D中部支部をはじめ、J I D A等の他団体も、推進に協力している。5年後に完成する「デザイン パーク」のイベントに、インテリアが中心となるよう期待されている。

・関西事業支部 (栢原)

第2回理事会で報告の通り、平成2・3年度の支部運営組織及び事業計画を5月23日の支部総会で決

定し、支部の特性を生かした事業を積極的に推進している。

・九州事業支部 (中川)

去る5月6日に開催された支部総会で決定した運営組織及び事業計画に基づき、九州通産局等の地域行政及び地域産業に密着した事業を推進すべく計画を進めている。

議長は、平成2年度の事業計画を理事会に提出していない事業支部は、理事会に早急に提出するよう対等理事に要請した。

議長は、第1号議案につき、理事会の了承を求めた。理事会はこれを了承した。

第2号議案 人事

・本部各委員会の委員委嘱について

議長は、第2号議案について、野村事務局長に提案の趣旨説明を求めた。野村事務局長は提案理由について次の通り説明した。

「この資料は、8月1日現在、本部事業の各委員長及び各事業支部支部長から本部事務局に報告のあった各委員会の委員を記載したもので、本日の理事会で委員を決定し、委嘱状を発令したい。未確定の委員会については督促中である。」

理事会は資料に記載された委員について、一部の委員会で委員の追加及び訂正を行った他、下記事項を決定した。

- ①委員の呼称についてと、各支部の担当委員長及びワーキングスタッフを、一律に「本部委員」とする。区分が必要な場合は（支部代表委員）、（ワーキングスタッフ）と括弧書きする。
- ②委嘱の発令日は、本日付（8月3日）で行う。
- ③全国会議のメンバーは、原則として、委員長及各支部代表の本部委員とする。
- ④展覧会委員会を特別事業から一般事業への移行については来年度以降の検討事項とし、組織変更時までは行わない。

議長は、本部委員人事の他、上記について理事会に諮った。異議なく承認された。

・顧問の委嘱について

議長は、顧問の委嘱について、「平成2年度については顧問の委嘱を行わない。今後必要に応じ、顧問を置く。」と発言した。

以上につき理事会に諮った。異議なく承認された。

第3号議案 委員会費（食費）の措置について

（平成元年度及び2年度）

議長は、第3号議案について、野村事務局長に提案の趣旨説明を求めた。野村事務局長は「平成元年度の委員会会議費のうち、食費については、平成2年5月11日付で、渡辺前理事長より、同年度の委員各位に凍結をお願いし、今後の処置については理事会の決定に任せられている。また、平成2年度については今回の理事会で、方針を決める必要がある」旨、提案理由を説明した。

議長は、「平成元年度については、財政の健全化を優先し、委員各位の了承を得た上で、寄付を願ってはどうか。平成2年度については、同様の理由により、会計細則の一部を改訂し、食費の支給を廃止してはどうか。」と発言し、理事会に諮り、異議なく承認された。

第4号議案 定款改訂の総会開催時期について

議長は、第4号議案について、森谷理事に提案の趣旨説明を求めた。森谷理事は、提案の趣旨について資料に基づき次の通り説明した。「去る8月2日、通産省に「副理事長2人制」に伴う定款改訂についての手続きについて意向を打診した。改訂の時期を平成3年4月からする場合、手続きの関係上、臨時総会を本年10月に開催しなければ間に合わない。来月5月の通常総会で行う場合、認可は9月末となる。また、通産省の意向として、定款を変更する場合は、社団法人のモデル定款との整合性を考慮してほしいとの要望があった。従って、今回の理事会で変更時期について、何時にするかを決める必要がある」議長は、「モデル定款との整合性については、理事会でも十分検討しなければならないので、定款を改訂する場合は、来年の通常総会で行ってはどうか」と発言し、理事会に了承を求めた。提案は了承された。

第5号議案 「賛助会員対策委員会」（仮称）の設置について

議長は、第5号議案について、富田理事に提案の趣旨説明を求めた。富田理事は「本件については、前回の理事会で組織委員会から提案した次の2点について、継続審議となっているので審議を願いたい」旨、資料に基づき提案の趣旨説明を行った。

①各支部に対する会員拡充の割り当て目標を突破した場合、その支部への還元方法について

②賛助会員のメリット対策の推進母体となる「賛助会員対策委員会」（仮称）の設置について

以上の2点について理事会はこれを審議した結果、

①については、組織委員会で方法を立案し、理事会に諮り決定する。

②については、その方法等について、従来より関係の深い、交流委員会が中心となり、組織委員会と協同で理事会に提案し決定する。なお、②については交流委員会の平成2年度重点目標に取り上げるよう、要請する。

議長は上記2点につき、理事会に了承を求めた。

本件は、了承された。

第6号議案 理事会開催に関する申し合わせについて

議長は、第6号議案について、森谷理事に提案理由の説明を求めた。森谷理事は「この提案は、理事会の審議を円滑に行うため、事前及び処理の方法について別紙資料にまとめたものである」旨、趣旨説明を行った。

議長は本件について、承認を諮った。異議なく承認された。

第7号議案 新入会員入会承認の件（24件）

議長は、下記24件について、野村事務局長に内容の概括説明を求めた。野村事務局長は資料に基づき説明した。理事会はそれぞれの資料に基づき審議を行った。いずれも異議なく承認された。

・正会員の入会（21件）

氏 名	種 別	支部	保 証 推 薦 者
鈴木 泰宏	正会員	九州	北林新比古・森 宣雄
栗本 邦博	"	"	" . "
中村 清美	"	関東	山岸 征史・中川 千早
帆足 英二	"	九州	坂井 良種・吉良 ヒロノ
藤原 啓克	"	関東	三輪 正弘・山品 元
大島 文夫	"	"	福田 友美・嶺 茂信
若月 道子	"	"	長岡 貞夫・山本 棟子
荒武 初	"	"	中村 圭介・中川 斉二
中林 茂夫	"	"	長岡 貞夫・福田 友美
鈴木 信夫	"	"	" . "
近藤 多美	"	"	山本 棟子・長岡 貞夫

日下部 由紀子	"	"	長岡 貞夫・小玉 靖子
川崎 泰秀	"	九州	森 宣雄・石井 信義
荒木 貞宣	"	"	坂下 昌・ "
千原 久光	"	"	中川 千年・ "
八木ひろみ	"	関東	森谷 延周・秋山 修治
飯嶋 房樹	"	"	泉 修二・山本 棟子
松岡 伸也	"	九州	鐘ヶ江茂則・松本 豊
野田 和子	"	関東	中川 斉二・斉藤 武行
中川彰三郎	"	関西	富田 卓司・川崎 浩
橋田 裕司	"	"	" . "

・賛助会員の入会（3件）

名 称	種 別	支部	紹 介 者
(株)アイビッグ	賛助会員		浅野 盛治
(株)最北精密	"		長岡 貞夫
(株)木田工芸社	"		榎田 均

第7号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に宇賀敏夫、栢原秀栄両理事を選任を提案し、理事会の承認を諮った。異議なく承認された。

（社）日本インテリアデザイナー協会1990・第3回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過の要領及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
 議事録署名人 宇 賀 敏 夫 印
 議事録署名人 栢 原 秀 栄 印

1990 第3回理事会出席者

長岡 貞夫、泉 修二、白石 勝彦、渡邊 優 栢原 秀栄、宇賀 敏夫、山本 棟子、富田 卓司 中川 千年、森谷 延周、中村 圭介、三輪 正弘
理事総数15名中15名（本人出席12名、委任状3名） （委任状）川上 信二、川崎 浩、山品 元
監 事 榎田 均、渡邊 敏雄
事務局長 野村禮七郎

次回理事会は10月3日（水）、東京開催の予定

J I D「会計細則」の一部改訂のお知らせ

従来は、理事会や委員会の出席者に対し、会計細則第2条「会議費」の規定に基づき、1回1名につき500円の会費が支給されていましたが、去る8月3日開催の1990・第3回理事会で廃止が議決され、平成2年度から実施されることになりました。

なお、同理事会で、平成元年度分についてはご寄付をお願いすることが決まりました。平成元年度委員としてご活躍頂いた方々及び平成2年度に委員になられた方々のご協力をお願いいたします。

注：廃止以前の会計細則
(会計細則)

第2条 理事会、委員会の出席者に対し1回1名500円の食費を支給する。但し現物で相当額支給した場合はこの限りでない。

(本部事務局)

委員会の動き

本部の総務・財務・組織・合同委員会開かれる

1. 日 時：1990年8月28日 13:30～18:30
2. 場 所：(財)大阪デザインセンター2F 会議室
3. 出席者：
 - ・総務委員会：森谷延周委員長，石井三雄
(関東)，小柳朝一(中部)，
山崎晶(関西)，天本静夫
(九州)各委員
 - ・財務委員会：川崎浩委員長，小柳朝一(中
部)，小宮容一(関西)，天
本静夫(九州)，各委員
 - ・組織委員会：富田卓司委員長，斉藤武行
(関東)，小柳朝一(中部)，
館野羊一(関西)，天本静夫
(九州)各委員
 - ・オブザーバー：栢原秀米(関西事業支部担
当理事)
野村禮七郎(本部事務局長)
吉田武司(関西事業支部事

務局員)

注：田中聡行財務委員(関東)は欠席

4. 議 題：

- ①. 総務・財務・組織各委員会の新年度事業計画と事業推進について――各委員会委員長
- ②. 総務・財務・組織各委員会の事業計画に対する推進方法の決定――各委員会個別会議
- ③. その他――出席者全員によるフリートーク

5. 議 事：

定刻，富田組織委員長の司会により会議が進められた。

会議に先立ち，各委員会別出席者が紹介された。

次に，富田委員長より合同委員会開催の経緯，議題及び進行方法について説明があった後，議題の順序に従い会議が進められた。

①総務・財務・組織各委員会の新年度事業計画と事業推進について

- ・総務委員会 森谷委員長
1985年以降現在までの運営組織の変遷について資料により説明，次に前年度の総務・財務・組織各委員会の活動について報告された。新年度の事業計画については，議案書に記載された項目について説明があった。
- ・財務委員会 川崎委員長
1990・第2回理事会に提出し，審議された資料に基づき，新年度の重点項目，収支について，その他の順に説明，研究課題として，会費増額の件につき，金額，時期，方法を策定中である旨，説明した。
- ・組織委員会 富田委員長
1990・第2回理事会に提出し，審議された「組織委員会運営とアンケート報告」の資料に基づき説明，運営組織については1990年8月3日現在の確定人事による組織図が配布された。会員拡充については，1990・第3回理事会までの入会状況

が報告され、目標数をオーバーした場合の報奨制度については組織委員会が原案を作成し、理事会に提議することになった他、賛助会員対策については同理事会で交流委員会が主体となり、組織委員会が協力し実施することになった旨報告された。

②総務・財務・組織各委員会の事業計画に対する推進方法の決定

総務委員会、財務委員会、組織委員会の順に個別に委員会を開催し、いずれも質疑の後に、原案の推進を決定した。なお、財務委員会の席上で、各事業支部の委員から平成2年度予算について、それぞれ説明があった。（財務委員会の関東支部については、森谷理事が田中委員の代理で出席し説明した。）

③その他

残された時間は、全員により三委員会に関連した討議を行ったが、それに先立って川崎委員長より、いくつかの要望が述べられた。討議の中では、新入会員や賛助会員に対する魅力づくりの必要性が中心的話題となった。

このような集まりではおそらく初めてと思われるが、関連の強い委員会のコミュニケーションの場として、大変有意義だったと思われる。

（文責・森谷・野村）

J I Dの記録写真等をお持ちの方へ協力お願い

広報委員会では、本年度の事業として「協会内の記録の整備」を行うことになりました。J I Dは、協会創立30有余年となりましたが、この間の貴重な資料が沢山あり、その大半は本部事務局に保管されています。この度永久保存に値する重要な記録や資料を個人でお持ちの方は、品名、種類（文書、写真、ビデオ等）、保管場所等を、下記事業支部の広報委員長又は本部事務局へお知らせ頂きたく、お願いいたします。

広報委員長	・	山	品	元
関東事業支部	・	福	田	友 美
関西	〃	・	式	田 完
九州	〃	・	菊	竹 清 輝
中部	〃	・	尾	崎 博 志
事務局長	・	野	村	禮七郎

（本部事務局）

「J I Dパンフレット」の修正版完成

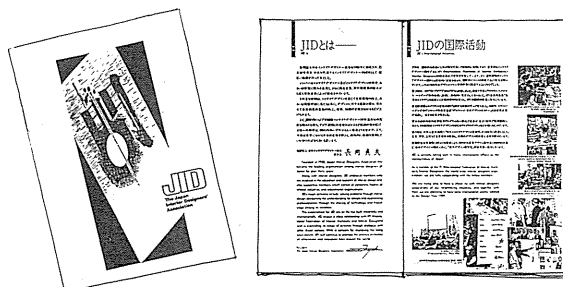
通称「J I Dパンフレット」などと呼ばれるものですが、従来のものを修正して、平成2年度版をつくりあげました。

これはJ I Dの対外向けPRに活用する目的のもので、いわばJ I Dの「経歴書」です。このプロトタイプは、今から3年前、当時の総務・広報・国際の3委員会の共同ワークのもとで制作されたものです。以後は年度が変わるごとに、表紙の色や文字・数字などの修正にとどめながら修正版を制作してきました。

今回の修正にあたっては、本部の総務委と事務局が中心となってまとめました。3年目ということで、事業記録としての写真もチェンジしたかったのですが、「制作予算」と「制作時間」の両面から断念せざるを得ませんでした。表紙の色、新理事長のメッセージ、変更や移転した事務局の所在地、改革された組織図、会員数、役員名などは修正しましたが、来年度には、ぜひ「写真」を変えたいものです。

本来ならば、出来上がったものを会員の皆様に一部ずつ配付したいところですが、部数に制約があります。新入会員の紹介や仕事上のあるいはJ I DのPRなどにご利用の方は、ご面倒でも本・支部事務局にご請求下さい。

（本部・総務委員長・森谷延周）



I.F.I. ニュースレターより抜粋記事紹介

*I.F.I. の新雑誌「INSPEACE」の発行

I.F.I. は、真に国際的な雑誌を目指し、新雑誌を発行する。主にインテリアデザイン、家具、インテリア関連製品等の新しい、すぐれた作品の紹介、専門分野の論文や、歴史的資料等が取り上げられる。又、雑誌の主要な内容として、会議やフォーラムを含むI.F.I. の活動があり、開催前の号で、内容、開催国や町の紹介、開催後の号で、その報告や掲載される。発行は年2回、1991年の始めに初刊発行、2号は1991年の秋に予定。

*JID事務局移転と新理事の紹介

JID事務局新住所と理事長—長岡貞夫氏、副理事長—泉修治氏、国際委員長—山本棟子氏、事務局長—野村礼七郎氏が紹介された。

*I.F.I. 参加メンバー、ASID/USAからの報告

ヴァージニア州がインテリアデザイナー検定制度を採用、その決議書に州知事がサイン。これは、1982年以来、インテリアデザイナー検定制度委員会を作り、働きかけてきた成果であり、他にアラバマ州、コネチカット州、フロリダ州、ルイジアナ州、プエルトリコ、ニューメキシコ州、ワシントンD.C. が、既に、同様の制度を実施しており、現在、運動中の州は7～8州ある。

*NordForm90についてリーザベス・ハーデンベルグ女子(I.F.I. 事務局長)からの報告

北欧5ヵ国参加のデザイン会議—NordForm90—が6/1～9/2までMalmoで開催された。これは、「スカンジナビアデザイン1990—2000年にむけて」のタイトルで、デザイン会議、展示会、ゲストスピーカーによる講演会などの催しからなり、最終日には、5ヵ条からなるスカンジナビアデザイン会議声明が宣言され、参加者の盛大な拍手により支持された。

*Icograda/ICSID/IFI 3 団体合同理事会が、NordForm90の会場であるMalmoで開催された。

1. メンバーシップフィードバックについての情報交換。
2. デザイン保護について。
3. ICSIDが最近出版した「ワールドダイレクトリーオブスクール」にI.F.I. が現在まとめている「ダイレクトリーオブスクール」の情報を提供した。
4. 国際コンペと賞計画の公式書類規則とガイドラインを、三団体合同で、ユネスコでの正式採択の為に提出

することが決定された。

5. 三団体合同のニュースレターは、1991年1月に発行される予定である。「自然及び、人工的環境への関心、そしてデザイナーの責任」が重要なテーマとなる。
6. 今回の理事会で、三団体合同の単一の国際的なデザイナー団体という事が第一義の目標ではないという事、それよりも、異種のデザイナーが協働できるプロジェクトを開拓する事が、もっとも実地的なデモンストレーションであるという事が合意された。
7. 1992年のEC統合の重要性の見地から、それぞれの団体の理事会で、ポートフォリオ“Europe”の作成を課題とする事が同意された。
8. 次の三団体合同理事会は、シカゴでのI.F.I. 総会(6月)の前に、1991年3月の予定である。

* 展覧会、フェアの案内

1. “East meets West in Applied Arts and Design”
6/6～9/10までオランダで開催された同展は、この後、1990年にはミラノで開催される。
2. Orgatec Cologne 1990. —10/25～10/30, 90’
於:Cologne (ドイツ)
インターナショナルオフィストレードフェアであり、シンポジウム、ワークショップ、会議等同時開催。
3. The Milan Furniture Exhibition—4/12～4/17, 91’, 於:Milan (イタリア)
4. Techhotel-27th International Exhibition of the Hospitality Industry—11/18～11/22,
於:Genova (イタリア)
5. Restoration90—10/22～10/24, 90’
於:Amsterdam (オランダ)

美術品、建物、歴史的景観、宝石、本などの修復と保存の技術に関する国際的なトレードショウ。

* I.F.I. ニュースレターは、参加加盟国の情報交換を目的として、年間4～5回発行される。I.F.I. の機関紙です。I.F.I. 事務局では、各国からのニュースや情報の、積極的な提供を呼びかけています。

(文責:宮城由紀子—国際委員会)

事業支部の動き

平成2年度支部事業計画及び人事

平成2年度の各事業支部事業計画及び運営組織が先に開催された各事業支部の総会等で次の通り決定しました。

●関東事業支部

平成2～3年度関東事業支部事業計画

関東事業支部支部長 中川帛子

平成2年度の総会決議により今年度から、事業支部毎に本部委員会と同じ十の委員会が置かれることになりました。これまで関東支部は本部が東京にある事もあって常に本部と一体の活動を行って来ており、私たち委員も本部、支部と言う明確な区分意識が薄かったようにおもいます。新組織では、支部の各委員長は自動的に本部と同名の委員になる二重構造で、本部委員会の活動を支援する一方、支部独自の事業を行います。

本年度から支部ごとの予算を付けられての事業開始ですが、例年にない厳しい予算の中で活動を始めねばなりません。当面は各委員会から提出される事業計画を委員長会議の場で活動の優先順位検討し、柔軟に事業を進めて行く予定です。支部活動の開始がくれまして会員の皆様にご迷惑をお掛けしておりますが下記のごとく新委員会の委員が決まり活動体制が整いましたので事業計画と合わせてご報告致しますと共に支部事業にたいするご協力と積極的な御参加をお願い致します。

事業計画

1. 本部事業への参加と協力・・・新入会員、賛助会員勧誘拡大のためのシステム作り。勧誘予定法人リストの作成等
1991年度 I F I 総会準備への協力
2. 前年度研究委員会の研究報告書（リゾート、シルバー）のコピー ファイリングの作成及び同研究のために集められたパネル、模型の展示会の企画、開催
3. J A I C A' 91 受け入れ年度
4. インテリアデザイン ワークとコンピューターへの

対応教育の取組み

5. インテリア学会との情報交換、連携による図面表記の標準化
6. 話題の建築物、施設、ショールーム等の魅力ある見学会を行い併せて新入会員、賛助会員の紹介を兼ねた定例的な交流の場を提供する
7. 会員個人又はグループによる研究論文、技術資料、会員の「作品ファイル集」等の出版企画立案
8. その他全委員会の情報交換を図り、相互協力によってタイムリーな計画をたて実行する

関東支部委員会委員リスト

総務委員会	委員長	石井三雄	
	委員	下川 登	伊藤公一
		竹森聖子	
財務委員会	委員長	田中總行	
組織委員会	委員長	斉藤武行	
国際委員会	委員長	下島資子	
交流委員会	委員長	浅野盛治	
	委員	野原健広	栗原満直
		入江 満	
広報委員会	委員長	福田友美	
出版委員会	委員長	阪井良種	
	委員	岡部史子	吉良ヒロノブ
		斉藤 悟	佐藤雅樹
		藤江 健	山崎 尊
		岩崎真理子	
教育・研究	委員長	長谷川隆之	
委員会	委員	杉本真二郎	見城美子
		杉 富士雄	尾関文夫
		山下礼子	梶 暁美
報酬委員会	委員長	長堀映司	
展覧会	委員長	岩倉栄利	
委員会	委員	根本研二	福沢雄二
		松原文子	中山博文
		岩崎真理子	

注）9月14日開催の関東支部役員会で決定した。

●中部事業支部

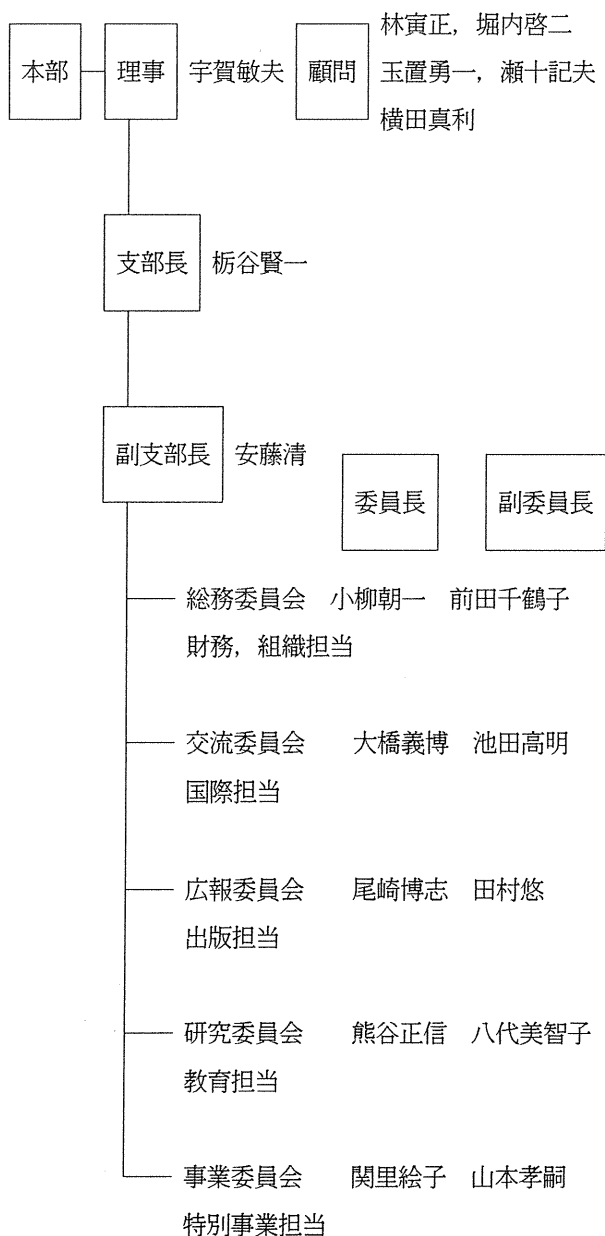
平成2年度中部事業支部事業計画

中部事業支部支部長 栃谷賢一

I. 事業計画

1. 愛知県優良家具展（愛知県家具団体連合会と共催）
2. 90' デザインシンポジウム（愛知県、各デザイン団体と共催）
3. 総会及び懇親会
4. 関西地区合同研修交流会（国内ツアー・講演会）
5. 交流会（会員相互及び対外的交流）
6. デザイン研修（生活用品振興センターと共催）
7. 海外ツアー企画案作成
8. 賛助会員に対するフォローアップ

II. 中部事業支部 運営組織



尚, 各委員長は, 本部委員会に属します。

事業内容によって, 特別委員会を組織することがある。

注: 6月30日開催の中部支部総会で決定した。

●関西事業支部

平成2年度関西事業支部事業計画

関西事業支部 支部長 浅田弘之

- ① J I D 関西事業支部の特性（地域、文化、歴史、人的構成）を生かした事業を行う。
- ② 展覧会委員会、教育・研究委員会及び他の委員会と相互関連し、協力できる企画、計画を立てる。
- ③ 他の委員会との情報交換を綿密にし、支部として総合的な活動に成り得る、事業計画の推進を積極的に行う。
- ④ 本部の事業計画に対して協力をする。

1. 展覧会委員会

a) 通常事業として下記の実施計画案に基づいて実施する。

- 1) インテリアを構成するエレメントごとにグループ分けを試み連続的に展覧会を実施する。
- 2) インテリアがどのように考えられ進められて形作られていくのかの実体を、何らかの方法で表現し一般にアピールする。
- 3) メーカーとタイアップし、インテリアを表現する新しい素材、意外な使われかた実例の展示を試みる。
- 4) 会員の一条の仕事の延長での新しい試みを発表する。
- 5) 会員の日常の仕事から離れて日頃から興味を抱いている分野、エレメントに挑戦する。
- 6) 特定のテーマを設け当会員、クラフト作家、メーカーに呼びかけて、それぞれの考えを発表・展示する。

目的と意味を重々検討吟味し、関西事業支部会員の全員の参加を目標に実施案を作成し総会の決定を得、遂行する。

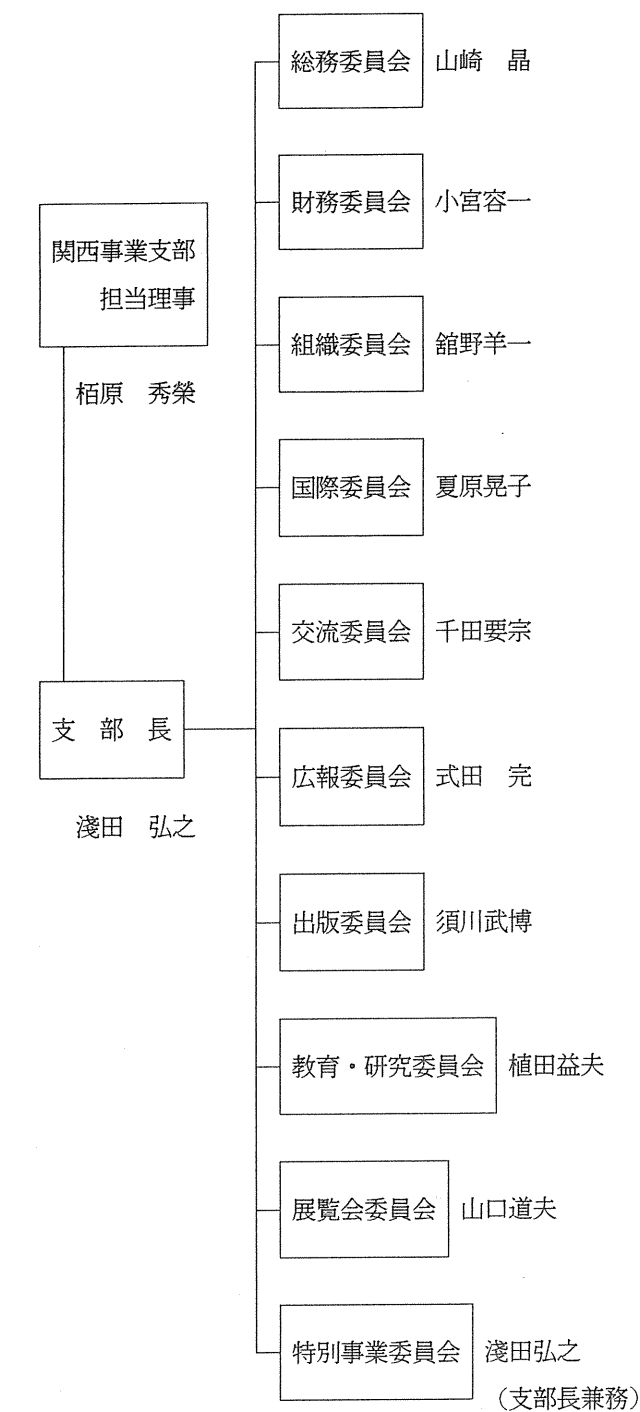
b) その他

2. 教育・研究委員会

a) 関西において、対外的・対内的会員の研究セミナーの実施。

b) 京阪神地区の主要建築竣工物の見学会。

c) その他。



上記各委員会の委員長は、本部各委員会に対して協力を
行う。

注）5月23日開催の関西支部総会で決定した。

●九州事業支部

平成二年度 九州事業支部 事業計画

九州事業支部支部長 坂下 昌

平成二年度は、昨年に続き'89デザインイヤーの理念、

J I D30周年記念事業である「九州インテリアデザイン
展」の経験を生かして、支部活動の一層の充実を図る。

特に例会の定期的運営をもとに、お互いのコミュニケー
ションの円滑、情報交換、会員各自の活動を通しての
社会的、経済的、文化的要因について認識を深めていく
と共に、更には、地域社会、産業界との交流を求めて、
デザイナー集団としての理念を表明していく。

I. 事業計画

1. 一泊研修旅行開催
2. 地域産業とのコミュニケーション
 - ①大川家具工業会との意見交換会
 - ②各地域産業の代表との意見交換会
 - ③地域文化事業への参加
3. 例会の定期的運営

II. 役員改選

坂下支部長より3月20日の例会（福岡県工技センタ
ーインテリア研究所）での次期役員選挙結果、改選審
議の報告と次期役員の推薦が行われた。質疑の後、中
川理事よりその後の経過報告が行われ、役員選出の承
認に移り全員でこれを承認した。

支部長 坂下 昌
総務委員長 天本 静夫
事業委員長 鐘ヶ江 茂則
広報委員長 菊竹 清輝
事務局長 石井 信義

注：5月6日開催の九州支部総会で決定した。

大阪デザイン活動国際化促進協議会設立へ、
関西事業支部参加

平成元年11月22日～24日にわたる3日間名古屋での世
界デザイン会議開催と合わせ「アジア、デザイン・ウィ
ーク大阪」が大阪府をはじめ社団法人デザイン5団体
（DAS、JIDA、JID、JAGDA、JFDA）
協同組合（ODOU）とによる運営委員会と協力団体
（国デ協、ODC、USD-O）後援（近畿通産局、大
阪市、大阪商工会議所、大阪中小企業団体中央会）及び
協賛（世界デザイン会議運営会）のもとで開催された。

その内容を簡単に記すと、「大阪ウォッチング」とし
て世界デザイン会議への海外からの参加者を名古屋から

近鉄の最新特急列車「アーバンライナー」（通産省選定Gマーク商品）で前記の解説をしながら大阪に移動。JIDAの担当のもと最も大阪らしい所を案内（大阪ビジネスパーク、日本橋電器問屋街、百貨店他）

又、ハイテク・インダストリーツアーとして松下電気産業の技術館、歴史館他を貸切りバスにより見学。

デザイントーク&サロンでは海外10名、国内10名のプレゼンターがそれぞれの分野からデザイン発表を行い、交流サロンには海外の参加者89名を含む230名あまりのパーティが開催された。

その他ODOUの協力のもと大阪の各ジャンルのデザインオフィスを訪問、デザイン企画開発の現場をつぶさに見学できる機会も与えられた。

最終日に開催されたデザインVIP、ランテオンは参加地域・台北・香港・マレーシア・シンガポール・インドネシア・オーストラリア日本とアジア太平洋地域のデザイン関係機関と大阪の主なデザイン団体の代表者、デザイン部門担当者など行政機関の参加により開催、アジア太平洋地域のデザイン交流の方法など討議するとともに大阪のデザイン活動国際化に向けての方策を検討した、この折の出席者のほとんどの要望として、今回の様な催しが永続的に催されるべきであり、その中心的立場としてその核を大阪に位置させ、今後発展させていく様一つの方向性が示されたのである。

これが母体となり大阪におけるデザイン活動の国際化を促進するための協議会の設立へと発展し、当協会関西事業支部にも構成の一団体としての参加要請があり、検討の上、名をつらねたのである。

数回にわたる準備検討会の会を重ね、本年4月17日大阪デザイン活動国際化促進協議会設立総会において種々の審議議決の上発足。名称は表記の通りとなった。

構成は役員、会長－1名（佐治敬三（社団法人総合デザイナー協会理事長））、副会長－1名（今竹翠（大阪府立産業デザイン研究センター所長））、委員－9名（当協会より栢原秀榮（JID関西事業支部担当理事）監事－2名、幹事－9名（当協会より浅田弘之（関西事業支部長）がそれぞれ構成員として参加している。

関西事業支部担当理事
栢原秀榮

関連団体の動き

関連団体のうち下記の団体で異動がありました。

- （財）日本産業デザイン振興会理事長
（新）村野啓一郎 （前）小林健夫
- （財）国際デザイン交流協会常務理事
（新）菊地禮 （前）木村一男
- （社）国際家具産業振興会常務理事
（新）青木恒太郎 （前）斉藤篤
- 国際デザインセンター設立推進委員会準備室
木村一男

（順不同、敬称略）

なお前号で日本インテリアファブリックス協会の前会長宮川武男氏のお名前に誤植がありました。お詫びして訂正致します。

- （財）国際デザイン交流協会
「環太平洋デザイン交流会議」開催
- 1. 日時；平成2年10月25日（木）10:00 ～ 17:00
- 2. 場所；大阪国際交流センター小ホール
- 3. プログラム
10:00 開会
10:30 基調講演 矢野暢氏
（京都大学東南アジア研究所長）
13:00 プレゼンテーション「各国のデザインの独自性とその主張」
- 4. 定員：200名
- 5. 参加料：無料
- 6. 参加申込先：（財）国際デザイン交流協会事業第2部
- 7. 申込締切日；平成2年10月20日（土）

訃報

伊藤利一さんを偲ぶ

榎田均



京都高等工芸図案科を卒業された伊藤さんは、昭和11年、同18年東京航空（株）を経られ同24年（株）コスガの前身である小菅工業・高田工場に入社された。

もの静かな中にもきりとした眼差しで退職される迄約40年間、企業の発展とともに、デザイン部門の設置、女性の為のインテリアデザイン教室の開設、デザインコンペティション等を通じ企業のもの作りにデザインが如何に重要かを当時デザインコンサルタントをして居られたもと会員の、故鈴木富久治氏と共に進められた方です。

一般論として高度成長期にあった木製家具メーカーでデザインを企業戦略の中に組み入れる事は、話としては理解されても、投資してまで実行する事は仲々困難な時代でもあった。新しい木工機械を入れたい。生産設備の拡充が競争の時代でもあった中で先を見越し、着々とデザイン施策を推進された会社と伊藤さんのご努力を評価したい。

また昭和52年国際協力事業団の委嘱でタイ国産業開発センター設立に関し日本から実務者の派遣があった際に、70才の身で自ら名のられて2ヶ年にわたり指導にあたられた。出発に先立ち、手当てもつくのだから奥様もご同伴されるべきだと私からもお勧めしたが、年だからとか馴れてないからと断り続けておられたが、長期で老人の自炊生活や外食では体がもたないと何回も説得し、やっとご同伴を決意され羽田空港出発の際は他のメンバー共々ご夫人同伴組が増えて出発された。着任中時々お便りで奥様連れの方が現地語も早く憶えショッピングや旅行と結構楽しんで生活していると報告をいただき、本当によい事をしたと安心した事を思い返している。

仕事一途と責任で家庭の内は二の次の世代の方だけに「お蔭で奥さん孝行が果たせました」と帰国のご挨拶をいただきましたのがつい此の間の様な気がします。

デザインの普及海外への技術移転協力で昭和61年度国井喜太郎産業工芸賞を工芸財団より授与され喜んでおられましたのが走馬灯の様に偲ばれます。改めてご冥福を祈ります。

伊藤利一

(1)<勤務先・事務所>

株式会社コスガ 東京都中央区東日本橋2～15～4

☎03-862-6711

<兼職>コスガ インテリア デザイン研究所(K I I D)

(2)<主な業績・活動>

1961～70 コスガファニチュアデザインコンペ審査人

兼事務局担当4回

1968～83 コスガインテリアデザイン教室(主任兼講師現K I I D)

1977 タイ国立家具産業振興開発センターの設立に参画(F I D C)

1981～3 (社)国際家具産業振興会主催東京国際家具見本市開催に参画

(3)<資格・その他>

K I I Dの顧問

F I D C設立のプロジェクトリーダー

京都高等工芸学校図案科卒業(1935)

(4)<自宅>

千葉県船橋市海神3～14～21 ㊦273

☎0474-31-3754

(株)青島商店創立者青島録平氏逝く

九月の声を聞き、残暑厳しき中にも朝夕は涼感を覚える今日この頃、皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

去る七月、亡父逝去に際しましては、二十日の通夜、二十一日の告別式と、御多忙にも係わりませず、御会葬、御焼香を賜りまして誠にありがとうございました。お蔭様を持ちまして、葬儀も滞りなくすませ、九月二日、内々で納骨式を執り行いました。

思い返しますと、亡父は気骨があると申しますか、いわば大変頑固者で、私どもは子供の頃から「あのようにはなりたくない」と、反面教師として過ごしてまいりました。しかし、一年と十カ月程前、母が脳梗塞で入院いたしましたしからはすっかり人が変わったように円くなり、後ろ姿を哀れにさえ思う日もございました。

永年一緒に暮らす者の感でしょうか、今年に入りました、「父も先が長くない」と感じ、三月に祖先の墓参り、四月に亡父の実家及び親戚への挨拶旅行、五月の連休には少々早い卒寿の祝いを行いました。

やるべきことを済ませ本人も気が緩んだのか、この後十日ほどの間に容態が急変し、主治医からも家庭での治療は無理と言われたため、五月中旬に五反田の阿部病院に入院いたしました。

満九十歳で逝去したことは、天寿をまっとうしたことだと皆様におっしゃっていただき、私共も確かにそうは

思うのですが、日々の暮らしの中で、「おやじがいきていたら・・・」と、心の隅をふと寂しいものが通り抜けるこの頃でございます。

世界一の長寿国になりました日本、しかし、長生きも健康でなくては決して良い面ばかりではありません。皆様には、どうかくれぐれも健康に留意されて、お元気な日々を送られますことをお祈り申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

九月吉日

青島賢治

(賛助会員 (株)青島商店社長)



吉永淳 君のこと

榎田 均

吉永淳君が8月9日駒沢の国立病院で心不全で急逝された。67歳。製科研時代お世話になった方が大勢居られると思います。仲間内では淳ちゃんと呼ばせて貰った方が親しみ易く、話題に登場しない事が少ないくらい。

それ程発信情報が豊富なのだ。時には空振り情報もあるのだが一向に頓着しない。「話は別だがね〇〇している？」と簡単に他の話に移れる。これを吉永情報と呼ぶ。

これで通るのも彼の人柄なので特にクラス会とか見学会、旅行等の企画とか幹事役ではこの情報が物を言う訳で仲間内は、何時でも本当に安心していられた。

淳ちゃん普段おとなしいが興に乗ると隠し芸が出ることもあった。それは「地下鉄の階段」道具は手近かの襖か障子を外し横長に立掛けるけ、襖の向側に立ち、手を振り「さよなら」して階段のステップを一段づつ降りて行く様に節度をつけ膝を曲げ、腰を低めてやがて襖の向う端手前で頭も襖の中に消える。うまくやると本当に階段がある様に消えてゆくから不思議である。

試験所で一番彼が活躍していた頃二段ベッド問題で紛争の渦に遭遇した事は残念だった。正義の味方と自負したは良いにしても、住環境、使用条件、メーカー側の言い分と共に客観的な方向で助言すべき立場の彼であって貰いたかったのが思い起こされます。

また若くて奥様に先立たれた淳ちゃんが何時も口にしていたのは「奥さん大切にしているかい」と往時恋愛の未結ばれたご夫人を乳癌で亡くされてからのことで、そ

の頃から世田谷の地域活動や或いは工芸財団活動へと奔走する様になり駒沢のご自宅は独居住まいの様であり皆が電話しても通じなくて困った事も多かった。

それだけに皆様の為にも彼の全てを打ち込みながら飄々としていた淳ちゃんが今度は襖の向こう側へ本当に先立たれてしまわれた。よき友を惜しみご冥福を祈ります。

吉永 淳

(1)<勤務先>

吉永デザイン研究室 東京都世田谷区駒沢3～16～10

〒154 ☎03-424-8747

<兼職>特法) 中小企業事業団情報センター

☎03-433-8811 (内483)

(2)<主な業績・活動>

1957～78 三井高陽氏邸、大倉邸などの室内設計、工業標準調査会委員、通産省インテリア産業振興委員NHKテレビ出講などデザイン研究、家具、内装の品質向上に協力、住環境の計画、建築資料集成(共著)

(3)資格・その他

1943 東京高等工芸学校卒(現千葉大工学部) 1947～79 工業技術院産業工芸試験所勤務。前女子栄養短大家政学部、中小企業大学校講師。

(社)日本建築学会、日本デザイン学会、日本生活文化史学会正会員、海外協力事業団登録派遣専門家、世田谷区「区民講座」企画委員。

(4)<自宅>

東京都世田谷区駒沢3～16～10 〒154

☎03-424-8747

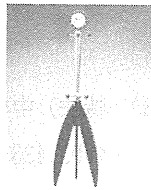
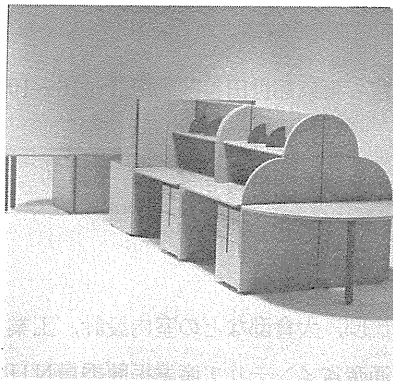
会員の消息

「旭川1990 国際デザインコンペティション」に清水忠男氏入賞、橋田裕司氏入選

旭川市が開基100周年記念事業として開催した「国際家具デザインフェア旭川'90」は、去る7月3日～7月8日、「北海道地域旭川地場産業振興センター」で開催されました。国際デザインコンペティションには世界18ヶ国472点にのぼる応募があり、その中から清水忠男氏(正会員・関東)の作品(I. O. E)が銅賞(旭川商

工会議所会頭賞)を受賞されました。また、J I Dに最近入会された橋田裕司氏(正会員・関東)の作品(時計付コートハンガー)がFINNAIR賞に入選されました。お二方の受賞に対し、会員の皆様と共に、心よりご祝福を申し上げます。

なお、作品は9月5日~17日、東京銀座松屋でも展示されました。



・銅 賞

アイ・オー・イー

清水 忠男

・FINNAIR賞

時計付コートハンガー

橋田裕司

●池 辺 武 彦

常々は格別のご厚情ご支援を賜り御礼申し上げます。
それにもかかわらず、平素は御無沙汰して居りまして誠に申し訳ありません。

さて、このたび事務所を下記に移転いたしましたので、まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。
池辺デザイン研究室も5月に開設致しまして、早くも3ヶ月を経過いたしました。たいしたしごとせず、あっという間に過ぎてしまいました。
より一層の飛躍を期しておりますので、今後とも益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1990 8月

池辺デザイン研究室

池 辺 武 彦

新事務所 〒171 東京都豊島区雑司ヶ谷2-7-13
グリーンコーポ 202号室

電話 03-987-3768 (変更ありません)

(関東、正会員)

●古 藤 司 郎

昨年五月末日をもちまして、株式会社高島屋建装事業本

部設計室を定年退職致しました。在職中は皆様より格別の御支援、御厚情を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
一年を経過、今年六月二十九日、有限会社コトーインテリア設計事務所を設立致しました。大変遅くなりましたが、ここに退職と新たに開業の御挨拶を申し上げる次第で御座居ます。

第二の人生と云うことで、長い将来は考えられないと思いますが、私の心の中に良い物を作って見たいと云う意欲が残って居ります間は、未だ研究を重ね今迄の技術を生かして、仕事を続け度いと思っております。

何卒倍旧の御指導御鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

平成二年八月

有限会社 コトーインテリア設計事務所

代表取締役 古藤 司郎

〒109 東京都港区高輪4-21-20

T E L 03-280-3448

●藤 川 征 輝

私こと、この度6月20日をもちまして藤産業株式会社を退職いたしました。

在職中はいろいろとお世話になり大変有難うございました。

今後は心と体に気持よいデザインをテーマにして教育と物づくりを両立させていきたいと考えております。

自分の微力な能力を知ったうえで、これまでの経験とネットワークを生かしながら、誠実にひとつひとつの仕事にとりくんでいこうと思っておりますので今後ともよろしく願いいたします。

なお今後の連絡先は下記のようになりますのでよろしくお願いいたします。

F デザイン 藤川 征輝

〒180 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-15-1

T E L 0422-22-8812

F A X 0422-22-8812

●野 沢 弘 子

長い間海外への郵送お手数をおかけしました。

Seattleへ転居しましたが安定しましたので今後は下記へご連絡お願い致します。

〒260 千葉県作草部町430-53

電話・FAX番号 0472-56-8190

(関東, 正会員)

●中道 義雄

皆様いかがお過ごしでしょうか。平素は大変御無沙汰し申し訳ありません。2人は相変らず元気になっています。

さてこの度下記の住所に転居致しました。

神戸電鉄, 大池駅から歩いて7分の六甲に面した, 空気, 日当りの良い四方山又山の閑静な所です。近くにお越しの時は是非お寄り下さい。2人で心から歓迎します。

平成2年8月

中道 義雄

新住所 神戸市北区山田町上谷上字ヤンゲン7-139

TEL 078-583-4690

(関西, 正会員)

●池田 松三

さて, この度勤務いたしておりました(株)ブリヂストン広報デザインセンターが9月1日より株式会社飯倉総合研究所として設立されました。

なお, 私は新会社にて継続勤務致しますので, 今後とも宣しくお願い申し上げます。

飯倉総合研究所概要

名称 株式会社飯倉総合研究所

IIGURA INSTITUTE, INC.

本社 東京都港区六本木5丁目17番1号

(AXISビル5階)

電話 東京(03)583-0311/FAX583-0199

営業内容 (1)商品・マーケティング・事業の企画及び関連調査業務

(2)デザイン開発 (製品・グラフィック・スペース)

(3)宣伝・販促物の企画・制作

(4)店舗及び展示物の企画・設計・施工

(関東, 正会員)

●専門学校インテリアセンタースクール

学校法人設立のご挨拶および役員組織のご案内

拝啓 残暑厳しい折柄おかわりもなく, 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から本校に格別のご理解とお力添えを賜り厚く御礼

申し上げます。

今般永年の懸案でありました学校法人設立の認可申請をいたしましたところ, おかげさまをもちまして, 平成2年7月2日付で認可となり, その名称を「学校法人環境造形学園」といたしました。

建学の精神にのっとり従来にも増して学園の一層の充実発展と, インテリアデザイン教育のためご指導ご鞭撻を賜りますよう, お願い申し上げます。

さて, この度学校法人化に伴い本校役員に左記のとおり就任いたしました。役員一同最善を尽くしてこの重責を全うしたいとお願いいたしております。

今後ともよろしくご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

まずは, 略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。

敬 具

平成2年9月吉日

学校法人環境造形学園

理事長 藤田 立子

(柄澤 立子)

記

学校法人環境造形学園

役員

理事長 藤田 立子

専務理事 藤田 隆彦

常務理事 横倉 栄治

理事 辻 豊治

理事 潟 沼 稔

理事 井上 義雄

理事 富田 正一

監事 松尾 康夫

監事 櫻井 輝隆

専門学校インテリアセンタースクール

校長 藤田 立子

(柄澤 立子)

副校長 垂見 健三

(賛助会員)

新入会員の紹介

●新入会員

(正 会 員)

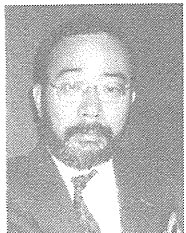
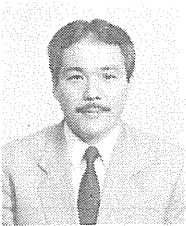
会 員 名		住 所 及 電 話
陶 山 由 美 (会員番号 840) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	三井デザインテック(株) リフォーム事業部千葉センター 千葉市中央1-11-1 千葉中央ツインビル1号館 9F 〒280 TEL 0472-24-0724 FAX 0472-22-7524 千葉市東寺山町256-128 〒260 TEL 0472-56-7685 長岡 貞夫・小玉 靖子
星 野 節 子 (会員番号 841) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アールデザイン設計事務所 埼玉県川越市幸町6-7 ミリオン電機ビル3F 〒350 TEL 0492-26-3908 (切換) FAX 0492-26-3908 埼玉県川越市幸町6-7 ミリオン電機ビル3F 〒350 TEL・FAX 0492-26-3908 (切換) 小笠原 紀男・岡部 史子
小野上 勝 志 (会員番号 842) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 伊勢丹 東京都新宿区新宿3-14-1 〒160 TEL 03-352-1111 (内3486) FAX 横浜市緑区市ヶ尾町1150-2 コスモ市ヶ尾601 〒227 TEL 045-972-1123 白石 勝彦・佐戸 清
星 岡 俊 夫 (会員番号 843) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	東京都杉並区本天沼3-8-7 〒167 TEL 03-399-8850 FAX 03-399-8088 松本 哲夫・浅田 弘之

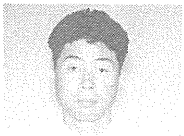
会 員 名		住 所 及 電 話
井 上 俊 彦 (会員番号 844) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	・(株)スペース西洋 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル1F 〒104 TEL 03-535-1181 (代) FAX 03-535-1186 東京都杉並区浜田山2-15-34-103 〒168 TEL 03-303-2505 岩 倉 榮 利 ・ 根 本 恵 司
綾 倉 信 子 (会員番号 845) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アトリエ・ミズ 横浜市港南区日限山3-9-21 〒233 TEL 045-844-2535 FAX 045-844-2535 横浜市港南区日限山3-9-21 〒233 TEL・FAX 045-844-2535 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子
稲 田 慎 一 (会員番号 846) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ジーハウス 東京都武蔵野市西久保3-4-19 オークウッド203 〒180 TEL 0422-54-6782 東京都武蔵野市西久保3-4-19 オークウッド203 〒180 TEL 0422-54-6782 及 川 宝 ・ 川 村 吉 司
鎌 田 博 子 (会員番号 847) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)西武百貨店 商品事業本部 ハウジング部 東京都豊島区南池袋1-18-4 SMA館アネックス2F 〒171 TEL 03-5992-4401 FAX 03-5992-4406 東京都世田谷区南烏山2-28-9 〒157 TEL 03-309-8717・FAX 03-305-2227 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子

会員名及番号		住 所 及 電 話
宇 田 比呂美 (会員番号 848) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) コスガ コスガ ギア・ボックス 東京都中央区東日本橋 2-15-4 〒103 TEL 03-862-6713 (内線22) FAX 03-866-3475 東京都中野区本町 3-15-3-201 〒164 TEL 03-372-1250 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子
岩 笨 陽 子 (会員番号 849) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) コスガ コスガ ギア・ボックス 東京都中央区東日本橋 2-15-4 〒103 TEL 03-862-6713 FAX 03-866-3475 東京都大田区中央 1-18-6-404 〒143 TEL 03-775-2420 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子
道 朗 三千代 (会員番号 850) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	日本ベッド製造(株) 東京都大田区池上 5-6-3 〒146 TEL 03-752-4371 FAX 03-755-7672 東京都江戸川区西葛西 3-9-9-708 〒134 TEL 03-686-4686 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子
槇 口 シズ子 (会員番号 851) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 藤栄プロスペクト 東京都目黒区平町 1-2-2 〒152 TEL 03-725-1100 東京都目黒区鷹番 3-4-18 八木ビル201 〒152 TEL 03-714-8863 金 子 浩 子 ・ 浅 野 盛 治

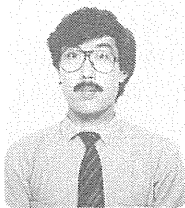
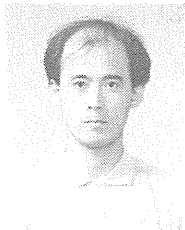
会員名及番号		住 所 及 電 話
田 中 興 夫 (会員番号 8 5 2) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 研デザイン 埼玉県川越市藤間1132-10 〒356 TEL 0492-45-0149 (自動切換) FAX 0492-45-0149 埼玉県川越市藤間1132-10 〒356 TEL・FAX 0492-45-0149 (自動切換) 宮 城 由紀子・山 下 禮 子
中 山 智恵美 (会員番号 8 5 3) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) スパジオ 一級建築士事務所 東京都港世田谷区玉川田園調布2-5-1 〒158 ショールム TEL 03-721-7109 オフィス03-721-6791 FAX 03-721-6770 東京都品川区西五反田2-31-12-401 〒141 TEL 03-493-9785 樋 浦 康 裕・西 澤 圭 三
梶 髭 美 (会員番号 8 5 4) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	東京ハウジングアカデミー 東京都渋谷区渋谷2-9-9 ローズベイ青山 〒150 TEL 03-498-4793 FAX 03-498-4794 埼玉県与野市鈴谷7-6 コープ野村3-1406 〒338 TEL 048-856-3024 中 村 圭 介・金 子 浩 子
山 口 慶之助 (会員番号 8 5 5) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) サンセイ 栃木県宇都宮市岩本町394-5 〒320 TEL 0286-21-6551 FAX 0286-22-2426 栃木県宇都宮市山本町435-55 〒320 TEL 0286-25-2597 森 谷 延 周・小 坂 希 八 郎

会員名及番号		住 所 及 電 話
飯 田 値 徳 (会員番号 8 5 6) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) ノーブル ハウジング つくば支店 茨城県つくば市小野崎小池 131-1 松本ビル 1 F 〒305 TEL 0298-56-1800 FAX 0298-56-1777 茨城県つくば市高野452 〒300-26 TEL 0298-47-4480 田 中 聰 行 ・ 吉 良 ヒロノブ
お 小 田 一 美 (会員番号 8 5 7) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アサヒ装飾 (株) 広島県福山市東手城町二丁目 8-3 〒721 TEL 0849-41-1402 FAX 0849-41-4090 広島県福山市東手城町二丁目 8-22 〒721 TEL 0849-41-5583 沖 本 弘 至 ・ 金 堀 一 郎
鈴 木 泰 宏 (会員番号 8 5 8) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 北装 福岡県北九州市小倉北区馬借一丁目 2-7 〒802 TEL 093-531-7251 FAX 093-531-8480 福岡県北九州市戸畑区土取町14-4 〒804 TEL・FAX 093-882-8139 北 村 新 比 古 ・ 森 宣 雄
築 本 邦 博 (会員番号 8 5 9) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 第一装備 大分県大分市南下郡12組の2 〒870 TEL 0975-69-1251 FAX 0975-69-2421 大分県大分市古国府 9-5 三和コーポ23-410 〒870 TEL 0975-43-7166 北 村 新 比 古 ・ 森 宣 雄

会員名及番号		住 所 及 電 話
笹 村 清 美 (会員番号 860) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) テキスタイル JAM (ジャム) 東京都板橋区赤塚新町 2-13-6 〒175 TEL 03-975-9719 FAX 03-976-8416 東京都板橋区赤塚新町 2-13-6 〒175 TEL 03-932-0429 山 岸 征 史 ・ 中 川 千 早
帆 足 翼 二 (会員番号 861) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 帆足デザイン研究所 沖縄県那覇市泊 2-1-6 ライオンズマンション泊第 7-403 〒900 TEL 0988-67-9874 FAX 0988-67-9875 沖縄県那覇市泊 2-1-6 ライオンズマンション泊第 7-403 〒900 TEL 0988-61-9054 阪 井 良 種 ・ 吉 良 ヒロノブ
ふじ わら ひろ かつ 藤 原 啓 克 (会員番号 862) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	大島藤原設計事務所 東京都渋谷区恵比寿西 1-2-1 エビスマンション 902 〒150 TEL 03-463-1136 FAX 03-463-1137 東京都中野区東中野 2-9-18 〒164 TEL 03-365-4477 三 輪 正 弘 ・ 山 品 元
大 島 文 夫 (会員番号 863) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	大島デザインスタジオ 神奈川県川崎市麻生区岡上 624 岡上ハイツ 201 〒215 TEL 044-989-0433 FAX 044-989-0433 神奈川県川崎市麻生区岡上 624 岡上ハイツ 201 〒215 TEL・FAX 044-989-0433 福 田 友 美 ・ 嶺 茂 信

会員名及番号		住 所 及 電 話
若 月 道 子 (会員番号 8 6 4) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	 横浜市西区浅間台 2 番地 〒220 TEL 045-311-2509 長 岡 貞 夫 ・ 山 本 棟 子
荒 舘 勲 (会員番号 8 6 5) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アトリエ IN&OUT 東京都渋谷区元代々木 3-2 セブンスターハイツ代々木公園206 〒151 TEL 03-468-8653 FAX 03-468-8760 東京都町田市中町 3-24-9 コスモ町田101 〒194 TEL 0427-29-7037 FAX 0427-21-1660 中 村 圭 介 ・ 中 川 齊 二
笹 林 茂 夫 (会員番号 8 6 6) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ソルティ デザイン ワークショップ 東京都渋谷区鶯谷町18-8 亀山ビル301 〒150 TEL 03-770-8356 FAX 03-770-8350 神奈川県川崎市宮前区宮前平 1-2-56 カーサ宮崎台102 〒213 TEL 044-888-7567 長 岡 貞 夫 ・ 福 田 友 美
鈴 木 信 夫 (会員番号 8 6 7) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 最北精密 山形県新庄市金沢1125 〒996 TEL 0233-22-1931 (内518) FAX 0233-22-1940 山形県新庄市鉄砲町10-19 〒996 TEL 0233-22-7268 長 岡 貞 夫 ・ 福 田 友 美

会員名及番号		住 所 及 電 話
近 藤 多 美 (会員番号 868) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	三井デザインテック (株) 東京西営業所 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-15-9 岩崎吉祥寺ビル4F 〒180 TEL 0422-20-3631 FAX 0422-20-3635 東京都世田谷区北烏山2-3-3-401 〒157 TEL・FAX 03-309-6835 山 本 棟 子 ・ 長 岡 貞 夫
目下部 由紀子 (会員番号 869) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) コスガ コスガ ギアボックスTOKYO 東京都中央区東日本橋2-15-4 〒103 TEL 03-862-6713 FAX 03-866-3475 東京都世田谷区南烏山5-5-7-5 〒157 TEL 03-307-7850 長 岡 貞 夫 ・ 小 玉 靖 子
川 崎 泰 秀 (会員番号 870) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 福岡インテリア 福岡市中央区舞鶴2丁目2-7 熊江ビル 〒810 TEL 092-715-3622 FAX 092-715-3623 福岡市早良区四箇田団地17-807 〒814-01 TEL 092-812-1430 森 宣 雄 ・ 石 井 信 義
荒 木 賢 宣 (会員番号 871) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	スタジオ・ソロ 福岡市東区多の津1-10-1 (株) 九装内 〒813 TEL 092-622-3232 (内82) FAX 092-621-9989 福岡市東区下原2丁目40-3 〒813 TEL 092-662-5160 坂 下 昌 ・ 石 井 信 義

会員名及番号		住 所 及 電 話
千 原 久 光 (会員番号 872) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) インテリアデザイン チハラコーポレーション 大分県日田市丸山町2丁目11-4 〒877 TEL 0973-24-1070 FAX 0973-24-1070 大分県日田市吹上町10-10 〒877 TEL 0973-22-1080 中 川 千 年 ・ 石 井 信 義
八 木 ひろみ (会員番号 873) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) インテリア 加藤 静岡県富士宮市大宮町8-1 〒418 TEL 0544-27-1381 FAX 0544-27-1382 静岡県富士宮市万野原新田3040-4 〒418 TEL 0544-23-3844 森 谷 延 周 ・ 秋 山 修 治
飯 嶋 房 樹 (会員番号 874) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 飯嶋房樹一級建築士事務所 東京都目黒区上目黒3-2-2 フジビル3F 〒153 TEL 03-760-6691 (代) FAX 03-760-6696 東京都東久留米市前沢4-32-7 カーデンハイツ滝山B-303 〒203 TEL 0424-74-7460 泉 修 二 ・ 山 本 棟 子
松 岡 祐 也 (会員番号 875) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	松岡漆工(株) 福岡県大川市大字上巻198 〒831 TEL 09448-7-2944 FAX 09448-7-2943 福岡県大川市大字上巻198 〒831 TEL 09448-7-2942 鐘ヶ江 茂 則 ・ 松 本 豊

会員名及番号		住 所 及 電 話
野 田 和 子 (会員番号 876) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) スペース クリエイトK 東京都江戸市東和泉1-19-7 〒201 TEL 03-488-4402 FAX 03-488-4403 東京都世田谷区成城5-18-19 〒157 TEL 03-483-2511 中 川 齊 二 ・ 斉 藤 武 行
中 川 彰三郎 (会員番号 877) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	design akis vision/デザイン アキス ヴィジョン 大阪府豊中市上野西4-7-16 パストラルハイム212号 〒560 TEL 06-852-1982 FAX 06-849-5431 大阪府豊中市上野西4-7-16 パストラルハイム212号 〒560 TEL 06-852-1982 FAX 06-849-5431 富 田 卓 司 ・ 川 崎 浩
橋 田 裕 司 (会員番号 878) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	プロト商品計画 大阪市東淀川区菅原7丁目6-10 〒533 TEL 06-328-9934 FAX 06-328-9934 大阪市東淀川区西淡路3丁目3-12 〒533 TEL 06-326-1656 富 田 卓 司 ・ 川 崎 浩

会 員 名		住 所 ・ 電 話 及 ご 担 当 者
株式会社 アーキテクツアンド アーティスツ	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都千代田区九段南二丁目3-10 〒102 TEL 03-261-9916 FAX 03-261-4641 中 田 文 二 斉 藤 武 行
山本工業 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	埼玉県越谷市袋山2048番地 〒343 TEL 0489-64-4311 FAX 0489-64-7162 代表取締役 山本 寛 山 下 博 之
藤産業 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都港区西新橋1-5-14 信栄堂ビル7F 〒105 TEL 03-508-1846 FAX 03-508-8047 デザイン課 課長 高橋 哲也 石 井 静 香
株式会社 龍村美術織物	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都中央区日本橋2-2-20 〒103 TEL 03-274-2274 FAX 03-281-7975 川 嶋 利 行 栗 原 満 直
株式会社 森 傳	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都港区三田三丁目9-9 〒108 TEL 03-454-8313 FAX 03-456-4475 副参事 高崎 義夫 田 中 聰 行
専門学校 日本デザイナー 学 院	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都渋谷区桜丘町4-16 〒150 TEL 03-770-5581 FAX 03-770-5540 教務課長 入江 克明, 板橋 弘光 阪 井 良 種

(賛助会員)

会 員 名		住 所 ・ 電 話 及 ご 担 当 者
セキスイ インテリア 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都新宿区本塩町23 第二田中ビル12F 〒160 TEL 03-341-9191 FAX 03-341-6295 本社企画管理担当専務 川原 博司 高 田 紀久枝
細田木材工業 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都江東区新木場2-15-28 〒136 TEL 03-521-8701 FAX 03-521-8708 取締役社長 細田 安治 インテリア事業本部部長 内林 正司 山 本 棟 子
フクビ化学工業 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	福井市三十八社町33-66 〒910-37 TEL 0776-38-8014 FAX 0776-38-8095 取締役社長 八木 熊吉 常務取締役 大崎 真澄 栃 谷 賢 一
株式会社 アイビッグ	住 所 担 当 者 紹 介 者	愛知県西春日井郡清洲町丸ノ内1933 〒452 TEL 052-409-5511 FAX 052-409-2035 代表取締役社長 山田 誠二 浅 野 盛 治
株式会社 最北精密	住 所 担 当 者 紹 介 者	山形県新庄市金沢1125 〒996 TEL 0233-22-1931 (内518, 519) FAX 0233-22-1940 取締役社長 赤松 盡二郎 開発室室長 鈴木 信夫 長 岡 貞 夫
株式会社 木田工芸社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都板橋区大和町32-16 〒173 TEL 03-964-0808 FAX 03-964-0926 代表取締役 木田 圓造 榎 田 均

会員の異動

(正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
竹 沢 吾 郎 (関東 新入会員)	自 宅 住 所	東京都豊島区池袋2-24-8 〒171 TEL 03-986-8900
尾 崎 博 志 (中部 P247)	新事務所開設 店舗併設	(有) 現代店舗・フローリスト「カサブラン花」 名古屋市千種区内山3-5-8 〒464 TEL 052-741-8648 FAX 052-735-0261 「カサブラン花」TEL 052-735-0260 FAX 052-735-0261
南 等 (関東 P137)	スタジオ開設 FAX番号変更	(有) エムインテリア研究室 横浜市戸塚区品濃町554-9 〒244 TEL 045-825-1904 (従来通り) FAX 045-825-9577
千 年 小枝子 (関東 P111)	勤務先 自宅電話番号変更	退職 TEL 0462-52-7308
中 沢 浩 (関東 P166)	事 務 所 住 所	横浜市緑区つつじが丘10-21 つつじが丘ハイツ202 〒227 TEL 045-982-1733
建 部 卓 (関東 P108)	自 宅 住 所	東京都大田区上池台4-21-29-207 〒145 TEL 03-726-4990
大 内 一 雄 (関東 P65)	勤 務 先	千葉工業大学工業デザイン学科 千葉県習志野市津田沼2-17-1 〒275 TEL 0474-78-0555 FAX 0474-78-0569
渡 邊 輝 男 (関東 P156)	自 宅 転 居	神奈川県鎌倉市寺分3-4-7 〒247 TEL 0467-43-7450 FAX 0467-43-7451

会 員 名	異 動 事 項	新
菅 野 和 弘 (関東 P 9 9)	勤 務 先	(株) ハウスポート 西洋 東京都豊島区南池袋 2-16-8 〒170 TEL 03-987-7901 (代)
藤 川 征 輝 (関東 P 1 2 7)	勤 務 先 事 務 所 開 設	藤産業(株) 退職 F デザイン 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-15-1 〒180 TEL・FAX 0422-22-8812
野 沢 弘 子 (関東 P 1 2 1)	日本国内連絡先 海 外 住 所	千葉県千葉市作草部町430-53 〒260 TEL・FAX 0472-56-8190 8740 Island Heights L N Mercer Island, WA98040
池 邊 武 彦 (関東 P 5 2)	事 務 所 移 転	東京都豊島区雑司ヶ谷 2-7-13 グリーン・コーポ202号室 〒171 TEL・FAX 03-987-3768
古 藤 司 郎 (関東 P 8 8)	勤 務 先 事 務 所 開 設	退職 (有) コトーインテリア設計事務所 東京都港区高輪 4-21-20 〒109 TEL・FAX 03-280-3448
佐 藤 均 (関東 P 9 4)	自 宅 住 所	秋田市新屋北浜町10-17 〒010-16
石 井 三 雄 (関東 P 5 3)	勤 務 先 住 所	横浜市中区山下町74-1 第一山下町ビル 〒231 TEL 045-661-7947 (直) FAX 045-661-7993
中 道 義 雄 (関西 P 2 2 0)	自 宅 住 所	神戸市北区山田町上谷上字ヤンゲン 7-139 〒651-12 TEL 078-583-4690
川 上 信 二 (関東 P 7 8)	事 務 所 移 転	東京都港区元赤坂 1-4-1 岡野ビル 4 F 〒107 TEL・FAX 03-403-2865 (従来通り)

(正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
池 田 松 三 (関東 P 52)	勤 務 先 変 更	(株) 飯倉総合研究所 IIGURA INSTITUTE, INC. 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル5F 〒106 TEL 03-583-0311 FAX 03-583-0199
大 槻 圭 子	支 部 変 更	関西事業支部より 関東事業支部へ
井 上 真知子 (関東 P 56)	自 宅 住 所	埼玉県比企郡小川町青山1319-7 〒355-03 TEL 0493-74-2629
畔 柳 由利子 (関東 新入会員)	自 宅 住 所	東京都目黒区柿ノ木坂1-20-12 〒152 TEL 03-725-1612
山 崎 尊 (関東 新入会員)	勤 務 先 住 所 部 署 変 更	東京都渋谷区東1-32-12 プロパティウエストビル7F 〒150 TEL 03-406-9305 三井デザインテック(株) アーバン事業部 デザイン設計課

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
イ ビ デ ン 株式会社 (賛助 P 287)	組 織 ・ 担 当 者	健材事業部 営業部 部長 丹羽 俊郎
(株) INAX 東京支店 インテリア課	電話番号・ FAX番号変更	TEL 03-555-3747 FAX 03-555-7822
株式会社 ユニオン (賛助 P 316)	担 当 者 役 職	代表取締役社長

事務局短信

- ①猛暑の夏もようやく終わり、窓外の虫の音や涼風に秋を感じさせる季節となりました。昨年の名古屋での集いから早1年、懐かしく思い出されます。
- ②今年から「10月1日はデザインの日」に決りましたが、当日豊口名誉理事が、「デザイン功労者」として通産大臣より表彰されました。会員の皆様とともに心よりご祝福申し上げます。
- ③本年度の「インテリアプランナー資格取得者」が発表され、J I Dの正会員63名の方が合格されました。合格された方々にご祝辞を申し上げます。
- ④遅れていた平成2年度の本部各会員の委員が決り、今年から各委員会とも4事業支部の委員長が一緒に活

動されることになりました。新J I Dの事業推進の原動力になられる方々のご活躍を期待しております。

- ⑤新年度に入り、正会員62名、賛助会員30社が新しくJ I Dのメンバーとなりました。ご推薦頂いた会員各位に厚くお礼申し上げます。目標にあと一息です。会員にふさわしい方がおられましたら是非ご紹介下さい。
- ⑥10月より会計年度下期を迎えました。過年度及び本年度会費未納の方は、支給納入方お願い致します。
- ⑦前号で、「J I D NEWS」は新機関誌と合併して発行すると予告しましたが、出版委員会のスタートが遅れましたので、7月号は休刊させていただき、とりあえず「J I D NEWS」8・9号を発行することになりました。ご了承下さい。

(株) トヨシマビジネス

東京都新宿区西新宿3-1-4 〒160
第2佐山ビル2F
(03)345-5686 新谷真由美(リフレ事業部)

(株) ナショナルトレーディング

東京都港区南麻布4-5-2 〒106
(03)442-4791 藤原 秀典(取締役)

(株) 天童木工

東京支店：東京都港区浜松町1-19-2 〒105
(03)432-0401 桜井久喜(技術部商品開発課課長)

東京シンコール(株)

東京都荒川区東日暮里4-12-1 〒116
(03)802-3211 中根 修(企画部デザイン室室長)

トーソー(株)

東京都中央区新川1-4-9 〒104
(03)552-1211 大谷文行(常務取締役)

トーヨーサーシ(株)

インテリア部
東京都江東区大島2-1-1 〒136
(03)638-8132(代) 大興太郎(インテリア部長)

東洋リノリューム(株)

東日本営業開発部
東京都港区虎ノ門1-12-15 〒105
(03)503-6231 牧田 行敏

(株) トミタ

営業部
東京都品川区東品川1-24-5(大井町センタービル7F) 〒140
(03)737-7771 富田順三(営業部部长)

(株) ナ イ キ 東 京

東京都千代田区岩本町1-10-6 TMMビル8F 〒101
(03)864-7610 深瀬邦夫 (スペースデザイナー)

(株) ニ チ ベ イ

東京都中央区日本橋3-15-4 〒103
(03)281-7691 斎藤憲一 (商品企画部課長)

日 輝 工 業 (株)

広島市西区商工センター8-1-42 〒733
(082)277-5454 宮本博支 (企画室長)

(株) ノ バ 大 島

東京都港区赤坂9-6-14 〒107
(03)402-9271 大島 優子 (取締役)

日本インターフェイスヒューガ(株)

東京都港区西麻布1-2-7 〒106
第17興和ビル
(03)402-4191 (代) 鈴木健式 (東京支店次長)

(株) ハ シ ヤ

東京都江戸川区平井5-21-3 〒132
ガーデン欣志ビル3F
(03)614-7700 橋谷二郎 (取締役東京副支店長)

日 本 装 備 (株)

東京都港区芝大門2-11-6 〒105
(03)434-8886 吉澤雄八郎 (代表取締役)

(株)ハナモトインターナショナル

大 阪 事 業 部
大阪市福島区海老江5-2-2 大拓ビル210 〒553
(06)454-9370 小黒年矩 (専務取締役)

日 本 ビ ク タ ー (株)

P&Sセンター
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12 〒221
(045)453-1111 佐久間 務 (デザイン4部部長)

(株) パ ル

大阪市中央区博労町1-6-14 〒541
(06)262-6913 田中 寛 (代表取締役)

1990/8・9

頒価 300円 (送料共)

1990年9月20日発行

(社団法人日本インテリアデザイナー協会月報1990年通巻第162号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局
東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂T&Kビル3F

☎03-5704-3421 (代)

印刷所・(社福)コロニー印刷

振替・東京 8-76389